



平成30年度 大牟田市社会福祉協議会 事業報告

平成 30 年度は、第3次大牟田市地域福祉計画・地域福祉実践計画（平成 27 年度～平成 31 年度）の4年目でした。本会では、この計画の下、大牟田市とともに以下の3つの基本目標を定め、事業展開していくこととしています。

- 【基本目標1】つながりを育む人づくり
- 【基本目標2】みんなで支え合う地域づくり
- 【基本目標3】生活課題の解決に向けた包括的な仕組みづくり

加えて、平成 30 年度は、以下の3つの重点施策に基づき、改めて 2025 年問題や 8050 問題を見据えた地域包括ケアシステム構築の実現のため、地域支援事業や生活支援事業、生活困窮者自立支援事業等に積極的に取り組んだところです。

- 〈①重点施策〉生活困窮者自立支援の推進
- 〈②重点施策〉地域包括ケアシステム（まちぐるみの支え合いの仕組みづくり）構築の推進
- 〈③重点施策〉多職種協働による「制度の狭間」となっている問題の解決の推進

以上のような基本目標や重点施策のもと、地域における生活課題・福祉課題に対して、様々な社会資源や地域資源を把握し、人と人、人と制度、人と支援者などの資源を有機的に結び付けて「地域共生社会」の実現に向けての基盤づくりに努めたところです。

特に、設立から4年目を迎えた「大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会」は、加盟している社会福祉法人が共同で、既存の制度の対象とならない課題や、対応が困難な福祉ニーズの課題解決のために、「生活困窮者レスキュー事業（食糧支援・ゴミ屋敷清掃活動・シェルター・生活つなぎ資金の貸付など）」を実施し、スピードを持って、その支援にあたってまいりました。

その結果、「生活困窮者レスキュー事業」に対しては、九州内外の市町村等からの視察依頼や講師派遣要請が相次ぎ、現代の社会構造における制度の狭間の課題に対するインフォーマルな取組みとして、関心が寄せられていると実感しているところです。

また、本会が取り組む歴木保育所や学童保育等の子育て支援事業運営については、順調に推移しています。一方で、介護保険事業サービス・障がい福祉サービスについては、昨年度収支が厳しい状況にありましたが、介護保険事業サービスに関しては、経営基盤や体制整備等の強化を図り、若干状況が改善いたしました。障がい福祉サービスに関しては、新年度に向けて、新たに「福祉有償運送事業」に取り組みました。

以上を踏まえて、平成 30 年度の特記すべき事項や活動の進捗については、

① 生活支援サービスの充実強化

「小地域ネットワーク活動」「ふれあいサロン活動」「住民参加型在宅福祉サービス」「日常生活自立支援事業」「成年後見事業」「居住支援事業」「子育て支援事業」「生活困窮者レスキュー事業」など、生活支援サービスの更なる充実に努めました。

② 「地域共生社会」に向けた多職種協働による新たな支え合い活動の広がり

“グリーンコープふくおか” “イオン九州” “CURVES（カーブス）” “エフコープ生活協同組合” “セブンイレブンジャパン” “大牟田市母子寡婦福祉会” 等々の企業・団体や個人からの協力の申入れなど、生活困窮者等に対する「食糧支援」が増えています。また「就労支援」や「学習支援」「子ども・地域食堂に対する支援」など、様々な支え合い活動の支援の輪は広がっています。

③ 福祉有償運送事業の取組み

視覚障がい者の外出支援を行う同行援護事業の一環として、外出時の移動手段の確保を行うことを目的とし、新たに福祉輸送事業の実施に向け取り組みました。

各事業の実施状況については、基本目標ごとに、以下のとおり報告いたします。

**【基本目標1】つながりを育む人づくり
支え合いのあるまちづくりの担い手を育成します。**

(1) 福祉教育推進事業

① 小・中学校の福祉教育活動の支援

市内の小・中学校への出前講座を実施した。障がいや高齢者に関する理解と共に、地域福祉の視点を入れた福祉教育を展開した。

日 時	学校名	内 容
5月 9日	銀水小学校	高齢者疑似体験セットの使い方
11月 12日	羽山台小学校	高齢者疑似体験セットの使い方と地域に暮らす高齢者について
11月 26日	橋中学校	市社協について、介護する人の気持ちについて
1月 10日	玉川小学校	高齢者疑似体験セットの使い方と地域に暮らす高齢者について
1月 28日	甘木中学校	高齢者疑似体験セットの使い方と介護する人の気持ちについて

② 福祉教育のコーディネート

学校等における福祉教育活動に、大牟田市視力障害者福祉協会、大牟田聴覚障害者福祉協会、大牟田手話の会「ありあけ」の協力を得て、講師（ゲストティーチャー）を派遣した。また、点字教室では、点訳奉仕「大牟田むつき会」の協力を得た。

派遣件数	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
合計件数	18 件	25 件	17 件	15 件



視力障がいの方の講話の様子



車いす体験学習の様子



出前講座の様子

③ 地域と協働した福祉教育の展開

校区社会福祉協議会が実施する、学校教育における地域福祉活動の学習を支援した。

中友校区 子ども民生委員	委嘱式、訪問活動、赤い羽根共同募金街頭募金活動
白川校区 ジュニア民生委員・児童委員	委嘱式、赤い羽根共同募金街頭募金活動、引継ぎ式



中友校区 子ども民生委員



白川校区 ジュニア民生委員

④ 福祉教材の貸出

福祉への関心や理解を高める教育活動において活用できる福祉教材（高齢者疑似体験セット、車いす、白杖、アイマスク、DVD等）を貸出した。

貸出件数	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
合計件数	26 件	15 件	30 件	17 件	27 件

(2) ボランティアセンター機能充実事業

① 情報の収集・発信・提供

福祉やボランティアに関する情報を収集し、広報紙や WEB サイト・掲示版などで、情報を提供した。

また、ボランティアを必要とする人とボランティアをしたい人をつなぐために、ボランティアセンター登録団体名簿やニーズ票を作成し、ニーズに応じた情報を提供した。

② ボランティア活動の相談・調整・支援

① ボランティア活動のコーディネート

ボランティアをしたい人やボランティアを必要とする人からの相談を受け、105 件のボランティア活動をコーディネートした。

② 登録ボランティアの支援

ボランティア活動への参加を促進するために、ボランティアグループの結成・運営などに関する相談や、活動に必要な器材の貸出等を支援した。

登録数	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
グループ	54 団体	46 団体	44 団体	48 団体	46 団体
個人	13 名	17 名	34 名	61 名	67 名

③ ボランティア活動保険加入の支援

【ボランティア活動保険の加入受付】

加入件数	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
受付	1,063 名	1,073 名	1,736 名	1,446 名	1,142 名

【行事用保険の加入受付】

区分	H30 年度
ボランティア行事用保険の加入受付	193 件 (14,889 名)
サロン・社協行事用保険の加入受付	60 件 (11,597 名)

④ おもちゃの図書館「くるりん」の支援

「おもちゃの図書館」は、障がいのある子もない子とともに、様々なおもちゃで楽しく遊ぶことを通し、心豊かに育ちあう場である。子ども達にたくさんのおもちゃを用意し、気に入ったおもちゃを選んで遊ぶ機会を提供しているボランティア活動と、保護者が交流する場「ママのホットタイム」を支援した。夏のデ

イキャンプやクリスマスおでん会、交通安全教室（年間2回開催）などのイベント支援も行い、参加者の気持ちに寄り添い、安心感を醸成することができた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
A	12	10	7	14	5	4	12	10	13	13	11	11	122名
B	8	7	4	10	3	3	8	6	9	7	8	7	80名
C	6	14	8	7	9	6	8	7	9	5	8	5	92名

A：子どもの参加人数、B：保護者の参加人数、C：ボランティアの参加人数

⑤ 世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間イベントの支援

世界自閉症啓発デーと発達障害啓発週間に、大牟田市自閉症児者親の会が取り組むイベントを支援した。

実施期間	4月2日～4月8日
実施場所	大牟田市役所前広場
実施内容	「癒やし」や「希望」などを表す青色でライトアップする 「ライト・イット・アップ・ブルー」
実施月日	3月21日
実施場所	総合福祉センター1階 多目的ルーム
実施内容	自閉症を知るためのおはなし会 「自閉っ子からこんにちは」



世界自閉症啓発デーイベントの様子

⑥ 企業におけるボランティア体験学習の受入れ

三井金属鉱業株式会社三池事務所の新入社員研修の一環として、ボランティア体験学習を受け入れた。11名の新任職員を対象に社協の取り組む事業やボランティア活動について学び、ふれあいサロン活動やサウンド・テーブル・テニスを通じて、高齢者や視覚障がいの方と交流を深めた。

実施月日	4月5日
実施場所	総合福祉センター、瓦町サロン、サン・アビリティーズおおむた
実施内容	【座学】社協の取組む事業やボランティアについて 【体験実習】① ふれあいサロン活動体験 ② サウンド・テーブル・テニス体験
参加人数	11名（引率者2名）



ボランティア体験の様子①



ボランティア体験の様子②

③ ソーシャルメディアを活用した情報ボランティア講座の実施

災害時における被災地内外では、ソーシャルメディアを利用した災害支援が積極的に行われている一方、ソーシャルメディアの効果的な運用方法や課題が共有していないことから、混乱につながることが多く見られる。そこで、日常的にソーシャルメディアに慣れている方を対象に、災害時の正しい情報発信のあり方やソーシャルメディアを活用した情報ボランティア活動について学ぶ体験型ボランティア講座を実施した。

実施月日	2月 23日
実施場所	大牟田市市民活動等多目的交流施設 えるる 2階 中研修室
実施内容	「災害ボランティアセンター情報発信を体験します」 【座学】「ソーシャルメディアを活用した災害ボランティア活動とは」 【体験ワーク】①「災害ボランティアセンターのフェイスブックを立ち上げよう」 ②「突発事項を解決しよう」
講師	さいばーとれいん 斎場俊之氏
参加人数	29名



災害ボランティア講座の様子(座学)



災害ボランティア講座の様子(体験ワーク)

**【基本目標 2】みんなで支え合う地域づくり
人と人とのつながりを深め 地域の支え合い活動を推進します。**

(1) 小地域ネットワーク活動推進事業

経済的困窮、社会的孤立、ひきこもり、虐待、権利侵害等の福祉課題・生活課題が、地域で早期に発見され、地域を基盤にした解決が可能な支援ネットワークとなることをめざして、以下に取り組んだ。

① 福祉委員の改選・委嘱及び研修

小地域ネットワーク活動の推進などの役割を担う福祉委員（第 7 期：平成 30 年 7 月 1 日～令和 2 年 6 月 30 日）を委嘱し、概ね 100～150 世帯に 1 人の割合で配置した。

① 福祉委員の配置数 353 名（新任福祉委員数 71 名）

配置数	第 5 期	第 6 期	第 7 期
福祉委員配置数	367 名	354 名	353 名
充 足 率	98%	95%	95%

② 新任福祉委員研修会の実施

実施日	場 所	参加者数	実践報告者
7月 5 日	大会議室	21 名	福田 正春氏（天領） 上田由起子氏（駿馬）
7月 6 日	大会議室	29 名	福井 和子氏（羽山台） 上田由起子氏（駿馬）
7月 8 日	中会議室	15 名	上田由起子氏（駿馬）

※個別対応 6 名



福祉委員・委嘱状交付式



新任福祉委員研修会

② 校区福祉座談会・研修会等への参画

開催月日	主な 内 容	人数
5月 15 日	市社協・手鎌校区社協役員座談会 「公民館単位の地域支え合いマップ細分化について」	12名
6月 8 日	平原校区福祉委員会議「福祉委員について」	11名
7月 20 日	吉野校区サロン交流会「サロン代表者との意見交換会」	10名
7月 20 日	チーム天の原関係者会議「地域支え合いマップ作成について」	23名
7月 24 日	吉野校区合同研修会「福祉委員と民生委員の連携について」	41名

8月 8日	三池校区福祉座談会「防災避難行動について」	73名
8月 9日	チーム天の原関係者会議 「天の原校区社協連絡委員会福祉研修について」	28名
8月 18日	手鎌校区合同研修会「地域支え合いマップについて」	82名
8月 20日	天の原校区連絡委員会福祉研修 「災害時にも活かせる地域支え合いマップ作成」	85名
8月 29日	中友校区福祉委員・民生委員合同研修会「福祉委員について」	40名
9月 7日	玉川校区合同研修会「成年後見制度について」	25名
9月 12日	明治校区福祉委員研修「福祉委員活動について」	13名
9月 14日	銀水校区まちづくり協議会運営委員会	42名
9月 21日	倉永校区合同研修会 「新道公民館の活動について」「福祉委員実践発表」	24名
11月 27日	チーム天の原関係者会議「情報共有シートについて」	15名
12月 9日	吉野校区福祉研修会 「子どもと家庭をとりまく状況について」	46名
1月 31日	チーム天の原関係者会議 「情報共有シートについて」「認知症カフェについて」	16名
2月 9日	手鎌校区合同研修会「生活困窮者自立支援について」	80名
2月 19日	チーム天の原関係者会議「情報共有シートについて」	15名
2月 27日	倉永校区サロン交流会「サロン代表者との意見交換」	34名
3月 19日	高取校区民生委員・児童委員協議会 「生活困窮者自立支援について」	13名



天の原校区社協連絡委員会福祉研修



手鎌校区合同研修会

③ 地域支え合いマップ作成の支援

小地域ネットワーク活動の充実に向けた取り組みの一つである「地域支え合いマップ」の作成支援を行った。今年度は新たに地域の防災訓練に「地域支え合いマップ」を活用する校区もあった。取り組んだ校区からは「災害時は民生委員、福祉委員、公民館長などの地域福祉活動者も被災し、避難支援ができない可能性があり、特に日頃からの地域のつながりづくりが重要と感じた。」との声があった。

災害時に活かせる
地域支え合いマップ作成

また、各地域において地域支え合いマップ作成を通して、福祉・生活課題の共有や解決方法の検討等の支援を行った。その結果、要配慮者の見守り支援体制構築や新たな生活課題の発見に繋がった。

④ 地域包括支援センターとの連携

各地域包括支援センターの生活支援コーディネーターや共創サポートーと連携し、地域包括ケアシステム構築に向けて、住民等による生活支援活動をより充実させるために、以下のことに取り組んだ。

① 生活支援コーディネーター会議への出席

開催日	内 容
4月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・各校区における取り組み報告 ・市社協との生活支援体制整備事業に関する取り組み ・地域デザインの学校について
5月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・各校区における取り組み報告 ・サロンリストについて ・地域デザインの学校について
6月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・各校区における取り組み報告 ・地域デザインの学校について
7月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・各校区における取り組み報告 ・地域デザインの学校について
8月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・共創サポートーについて
9月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの関わりについて ・サロンリストについて ・共創サポートーの活動について
10月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の移動手段について
11月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンリストについて ・農福連携について
12月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンリストについて ・認知症カフェフェスタについて
1月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県生活支援コーディネーター連絡会議報告 ・認知症カフェフェスタについて ・ふれあいサロン活動冊子について
2月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいサロン活動冊子について
3月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人ちいきのカンパニーの活動について

② 生活支援コーディネーター及び共創サポートーとの連携・協働

時 期	会議名	内 容
7月	みなと校区福祉座談会立ち上げの検討	校区社協会長からの相談に対し、生活支援コーディネーターと連携し、立ち上げまでのプロセスを協議
11月	農業・福祉・多機関連携検討会議	農福連携について生活支援コーディネーターからの相談により会議に参加
2月～3月	玉川校区移動手段検討会議	玉川校区における交通手段の確保について校区まち協会長、校区民児協会長、生活支援コーディネーター、共創サポートーの会議に参加

③ ふれあいサロン活動冊子の作成

大牟田市健康長寿支援課、生活支援コーディネーターや共創サポートーと協働し、本会に登録する各サロン活動の開催日、活動場所、活動内容等の紹介やサロン活動心得、サロンレクレーション用具一覧（別掲P13）等を記した「ふれあいサロン活動冊子」を作成した。



(2) 地域組織活動促進事業

① 校区社会福祉協議会との連携・協働による地域福祉力の向上

- ① 小地域ネットワーク活動の支援（別掲 P6～8）
- ② 子ども・地域食堂の取組み（別掲 P34～35）

② 校区社会福祉協議会会长連絡協議会活動との連携・協働

校区社会福祉協議会会长連絡協議会（以下、「校区社協会長会」という。）が主体となって取り組む地域福祉活動を支援した。

今年度は、校区社協会長会が重点項目として、「災害時にも機能する小地域ネットワークづくり」を掲げ、各種研修会や地域リーダー合同研修会など協働して開催した。また「福祉と防災・減災の観点を取り入れた地域支え合いマップ」の作成を協働して、地域住民が「自助・互助・共助」について考える機会を提供した。

① 役員会・会長会開催の支援

会議名	開催月日	主な内容
第1回 役員会 会長会	平成 30 年 3月 26 日 4月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度校区社協会長会事業計画（案）について ・平成 30 年度校区社協会長会収支予算（案）について ・平成 29 年度校区社協会長会事業報告について ・平成 29 年度校区社協会長会収支決算について ・平成 29 年度監査報告
監査	4月 3日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度校区社協会長会 監査
第2回 役員会 会長会	5月 28 日 6月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県共同募金会大牟田市支会評議員の推薦について ・平成 30 年度新任校区社協会長研修会について ・平成 30 年度新任福祉委員研修会について ・校区社協会長会 新役員の選出（案）について ・校区社協会長会 研修会について
第3回 役員会 会長会	7月 23 日 8月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> ・大牟田市社会福祉協議会会长表彰（地域活動実践者）の候補者の推薦について ・平成 30 年度赤い羽根共同募金啓発資材について ・校区敬老会の開催日程及び会長参加依頼について
第4回 役員会 会長会	9月 25 日 10月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度地域リーダー合同研修会の開催について ・平成 30 年度赤い羽根共同募金の活動方針について ・平成 30 年度第 1 回ふれあいサロン連絡会について ・平成 30 年度優良校区社協の推薦（案）について
第5回 役員会 会長会	11月 26 日 12月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> ・第 10 回 大牟田市地域福祉大会について ・大牟田市社会福祉協議会会长表彰（地域活動実践者）の審査結果について ・赤い羽根共同募金進捗状況について ・平成 30 年度地域リーダー合同研修会について
第6回 役員会 会長会	1月 28 日 2月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度赤い羽根共同募金実績について ・第 10 回大牟田市地域福祉大会について ・平成 30 年度校区社協会長会事業報告について ・平成 31 年度校区社協会長会事業計画（案）について
第7回 役員会	3月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度校区社協会長会事業報告について ・平成 31 年度校区社協会長会事業計画（案）について ・平成 31 年度校区社協会長会収支予算（案）について

② 研修部会との協働による研修の企画・実施

校区社協会長研修会や地域リーダー合同研修会等の内容について、校区社協会長会研修部会と協議し、協力して実施した。

研修会の実施	
6月 1日	新任校区社協会長研修会
7月 5日	新任福祉委員研修会 ※7/5・6・8の3日間実施。
9月 2日	平成30年度災害ボランティアセンター設置・運営訓練
9月 6日	視察研修 「平成30年度九州ブロック地域福祉研究会議・分科会」
11月 29日	地域リーダー合同研修会 ※別掲P12
12月 10日	座学研修「校区社協のあり方について」 講師：九州大谷短期大学 教授 中村秀一氏
2月 10日	第10回大牟田市地域福祉大会 ※別掲P11
2月 12日	高取校区社協視察研修報告



新任校区社協会長研修



校区社協会長会座学研修会

③ 広報部会との協働による地域福祉活動に関する情報発信

福祉だより「きらり」、事務局通信「きらり」を活用して校区社協会長会により「つながり」の発行を支援した。

校区社協会長連絡協議会だより「つながり」の発行

7/15日・夏号	校区社協会長紹介、校区社協会長会の防災・減災の取り組みについて
1/15日・冬号	校区社協の取り組み紹介「認知症について」 (駒馬校区・羽山台校区)
市社協事務局通信での「つながり」の発行	
11月号	校区社協の取り組み紹介（天領校区・白川校区）



③ 第10回大牟田市地域福祉大会～地域支え合い“絆”セミナー～の開催
市民一人ひとりが自ら住んでいる地域に積極的に関わり、地域住民の「支えあいの“絆”」を創造することを目的に開催した。

実施月日	2月10日
実施場所	大牟田文化会館 小ホール
実施内容	<p>【第1部】 地域福祉の向上に貢献され、他の模範となる個人又は団体に対し、表彰状の授与を行うことでその功績を称えた。</p> <p>■大牟田市社会福祉協議会 功労者表彰 (表彰の部)</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 校区社協実践活動者（19名） □ 優良校区社協（天領校区） □ ボランティア活動者・団体（1団体） □ 特別功労団体（1団体） <p>(感謝の部)</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 校区社協実践活動者（37名） □ ボランティア活動者・団体（1名・2団体） □ 善意銀行高額寄付者・団体（9名・2団体） □ 地域活動実践者（2名） <p>■共同募金高額寄付者・団体表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 中央共同募金会長表彰（1名・1団体） □ 福岡県共同募金会会長表彰（2名・1団体） □ 赤い羽根高額寄付者・団体（15団体） □ 歳末高額寄付団体（4団体） <p>■大牟田善意銀行特別枠</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 永年賛助会員（79名・4団体・17事業所） <p>【第2部】成年後見フォーラム 座長 福岡県弁護士会 中尾哲郎氏 基調講演「元気なうちに考える『死後』のこと」 講師 一般社団法人 シニア生活文化研究所 所長 小谷みどり氏</p> <p>【第3部】寸劇 「どうしよう？預金が下ろせない！」 成年後見概要説明 大牟田市成年後見センター長 竹本安伸</p>
参加人数	524名

第10回大牟田市地域福祉大会
～地域支えあい絆セミナー～
主催/大牟田市地域福祉大会実行委員会

第1部 表彰式典
(特別功労者)

第2部 基調講演
小谷みどりさん

第3部 寸劇
(大牟田銀行瓦町支店での場面)

④ 地域リーダー合同研修会の開催

校区社協会長会、校区民生委員・児童委員協議会、校区コミュニティ連絡協議会等の各会長と協働し、地域リーダー合同研修会を実施した。現在、地域福祉活動者間の情報共有に課題を抱えている校区が少なくなく、加えて、昨今、自然災害を身近に感じる機会も多くなった。平成29年度は、「災害時にも機能する小地域ネットワーク活動」をテーマに災害時の地域内の連携のあり方について学んだ。平成30年度は、「災害時にも機能する地域体制のあり方」をテーマとし、平常時・災害時の地域組織の連携や協働のあり方について学び、これからの取り組みについて意見交換を行った。

平成30年度 地域リーダー合同研修会 「人と人とのつながりを大切に～災害時にも機能する地域体制のあり方～」	
研修月日	11月29日
研修場所	おおむたハイツ 芙蓉の間
研修内容	<p>■基調講演「災害と人権～九州北部豪雨災害を振り返って～」 講師：福岡県人権問題講師団講師 中嶋玲子氏</p> <p>■意見交換（ワークショップ）</p>
参加人数	校区社協会長、民児協会長、まち協会長、連協会長、市役所職員、生活支援コーディネーター・共創サポートー等 計90名



中嶋氏による基調講演の様子



ワークショップの様子

(3) ふれあいサロン活動支援事業

① サロン活動への支援

サロン活動は、ご近所の人達が「みんなで集まりおしゃべりを楽しもう」と声をかけて、構えずに気軽に始める“仲間づくり”“生きがいづくり”的活動の場である。サロン活動拠点には、助成金を交付するとともに、今年度は新たに7カ所の立上げの支援をする一方で、8カ所が休止及び廃止となった。平成31年3月末で、サロン登録数は133カ所となった。

② ふれあいサロン活動冊子の作成（別掲P8）

③ サロン連絡会の開催

サロン活動の活性化のために、情報の共有や実践の紹介、サロン間の交流を目的として連絡会を開催した。

第1回「もっとサロンが楽しくなる！～サロン用具の体験～」	
実施月日	9月18日（3回／日）
実施場所	イオンモール大牟田 イオンホール
実施内容	レクリエーション用具の紹介・体験
実践紹介	大牟田レクリエーション協会
参加人数	193名（各サロン2名、校区社協会長、生活支援コーディネーター）

第2回「健康について考えよう！～サロンでできる健康講座～」

実施月日 会 場	2月26日 三川地区公民館 2月27日 中央地区公民館 3月 6日 吉野地区公民館 3月 6日 三池地区公民館	3月 8日 勝立地区公民館 3月12日 手鎌地区公民館 3月13日 総合福祉センター
実施内容	健康に関する講義	
講 師	大牟田市健康長寿支援課 健康対策担当	
参加人数	264名（各サロン2名、校区社協会長、生活支援コーディネーター）	



第1回サロン連絡会



第2回サロン連絡会

(4) レクリエーション用具の貸出

サロン連絡会において、新しい用具の体験と用具一覧表の配布を行い、サロンで活用してもらうため、計21種類のレクリエーション用具の貸出を行い、今年度は延べ68件の貸出となった。

【貸出レクリエーション用具一覧】

1	スキヤキ・ジャンケン	11	台風ドカン
2	唱歌かるた	12	わなげ
3	開運お手玉ボード	13	スポーツ吹き矢
4	羽根っこゲーム干支セトラ	14	コミュニケーション麻雀
5	将棋（小）	15	ポールボードゲーム
6	囲碁（小）	16	友・遊ボウリング
7	神戸ミニヤード	17	スカットボールⅡ
8	たいこ相撲	18	ゲームレール
9	スマイル射的	19	ニチレクボール（ペタンク）
10	釣りっこ	20	お手玉リズム体操＆陣取りマット
		21	グランドゴルフセット

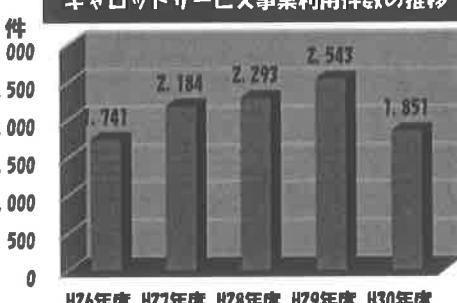
(4) 住民参加型在宅福祉サービス提供体制充実事業

① おおむたキャロットサービス会員の登録・活動の調整

日常生活において、公的サービスでは対応できない生活課題を抱えている一人暮らし高齢者等に対し、サポーター登録した協力会員が生活支援サービスを行った。今年度の実績は、協力会員の増加はあったが、草取りの範囲の見直しをしたことや産前産後の利用（サポートママ）が少なかったことが主な要因で前年比73%にとどまった。

① 会員の登録

キャロットサービス事業利用件数の推移



区分	H29年度 登録者数	H30年度登録者数			前年度比	
		新規登録者数	退会者数	計		
利用会員	147名	56名	64名	139名	8名減	95%
協力会員	37名	14名	8名	43名	6名増	116%
合 計	184名	70名	72名	182名	2名減	99%

② 活動の内訳

(単位：件)											
家事支援		貰物	葉 受取	通院 外出 付添	見守 り	話し 相手	草 とり	ゴミ 出し	その他		
掃除	食事 作り								修繕 など	その 他	産前 産後
1,145	136	257	3	111	0	28	47	25	10	85	4

② 協力会員の養成講座・交流研修の実施

① おおむたキャロットサービス協力会員養成講座の実施

キャロットサービスへの依頼の増加に対応するために、協力会員の養成に取り組んだ。今年度も昨年度同様、キャロットサービス協力会員だけでなく、同じボランティア精神に支えられた日常生活自立支援事業の生活支援員とファミリー・サポート・センターの協力会員の養成を「市民サポーター養成講座」として行った。講座の内容は、基礎講座・実践講座の2種類を設定し、受講者は全員基礎講座を受講した後に、事業ごとの実践講座を選択して、希望する市民サポーターとして活動していただくことを目的に実施した。

キャロットサービス協力会員としては5名の登録があったが、他のサポーターへの登録もあった。今後も講座の内容やあり方等を検討しながら、市民の方々が興味を持ち、参加しやすい講座を実施していくこととしたい。

【基礎講座】

市民サポーター養成講座		
実施月日	実施 内 容	人数
8月 21 日	第1回「ボランティアについて」 講師：筑紫女学園大学 社会福祉コース 教授 山崎安則氏	21名
8月 23 日	第2回「各事業紹介・実践報告」 講師：各事業サポーター、大牟田市社会福祉協議会職員	18名

【実践講座】

市民サポーター養成講座		
実施月日	実施 内 容	人数
8月 29 日	第1回「傾聴を学ぶ」 講師：再評価カウンセリング 九州エリア代表 宮崎由紀子氏	18名
8月 30 日	第2回「子どもの病気と体の発達」 講師：坂西内科医院 坂西信平氏	13名
9月 4 日	第3回「子どもについて」 講師：くぬぎ保育所主任保育士	11名
9月 6 日	第4回「高齢者・障がい者について」 講師：中央地区地域包括支援センター 木村 薫氏 相談支援センターサンローレル 山本早織氏	12名
9月 11 日	第5回「子どものケガの手当の仕方」 講師：日本赤十字社福岡県支部 坂本峰子氏	12名
9月 13 日	第6回「助け合いについて」 講師：NPO 法人地域たすけあいの会理事 田中将太氏	15名
9月 18 日	第7回「イザという時あわてないために～心肺蘇生法・AED～」 講師：日本赤十字社 救急法指導員	21名

② 協力会員交流研修会の実施

協力会員同士の親睦・連携を深め、活動の充実を図ることを目的として 3 回実施した。

今年度は、活動時に役立つ内容を中心に研修を行った。さらに、グループワークを行うことで、キャロットサービスの意義を再確認しながら、活動への思いを共有し、意欲を高めることができた。



協力会員交流研修会の様子

実施月日	第1回：5月18日、第2回：12月7日、第3回：3月8日
実施場所	総合福祉センター 2 階 中会議室・大会議室
実施内容	第1回：研修「サービスに入るうえでのワンポイント」 第2回：研修「高齢者との接し方」 第3回：研修「キャロットサービスが目指すもの」
講 師	第1回：福祉サービス担当職員 第2回：中央地区地域包括支援センター 木村 薫氏 第3回：NPO 法人地域たすけあいの会 田中将太氏
参加人数	第1回：16名 第2回：18名 第3回：19名

(5) 協働型災害支援体制強化事業

① 災害ボランティア活動の促進

① 久留米市災害ボランティアセンターの運営支援に係る職員派遣

西日本を中心に甚大な被害をもたらした平成 30 年 7 月豪雨災に対し、久留米市災害ボランティアセンター立ち上げ及び運営支援として、以下のとおり職員を派遣した。



ボランティア受付の様子

派遣期間	派 遣 先	延人数
7月11日～7月15日	久留米市災害ボランティアセンター	8名

② ボランティア活動保険加入特設コーナーの設置

平成 30 年 7 月豪雨災害に際し、被災地でのボランティア活動を支援するために、7 月 8 日より総合福祉センター 1 階にボランティア活動保険加入特設コーナーを設置した。

保険に加入する際、災害ボランティア活動の心得や被災地情報などのオリエンテーションも併せて実施した。延 34 名が加入した。



災害ボランティア保険特設受付コーナー

③ 災害支援資機材の提供

本会ならびに大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会で、久留米市災害ボランティアセンターで必要となるバキュームクリーナーやポンプ、サーキュレーター等の資機材を提供した。また、福岡県共同募金会大牟田市支会が所持している発電機の貸出も行った。



久留米市災害 VOC へ資機材提供

④ 災害義援金の募集（別掲 P19）

② 災害支援ボランティアセンター設置・運営訓練の実施

大牟田市総合防災訓練の一環として、災害ボランティアセンターの立ち上げから運営までを訓練し、災害ボランティアセンターの機能や役割に対する理解を深めた。加えて、今年度は、総合福祉センターを本所とした訓練に加え、三池小学校の一部をサテライトとし、設置運営訓練を実施した。



サテライト型
災害 VOC 設置訓練

大牟田市総合防災訓練における「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」

実施月日	9月2日
実施場所	本所：大牟田市総合福祉センター サテライト：三池小学校
実施内容	災害ボランティアセンターの立ち上げ準備及びボランティアコーディネート（要援護者の安否確認・避難支援も含む）
参加人数	約 70 名（大牟田市校区社会福祉協議会会長連絡協議会、一般社団法人大牟田青年会議所、大牟田市ボランティア連絡協議会、エフコープ生活協同組合、市民協働部職員等）

③ 防災運動会への支援

「防災運動会」は、障がい者と地域住民が協力し、地域住民一体となって防災に関連した競技を行う中で、身近な防災意識を高揚させること、また障がいがあっても協働できることを周知してもらうことを目的とし、競技を楽しみながら防災の知識を身に付ける運動会である。今年度は、ボランティア連絡協議会主催の防災運動会に 10 名の職員を派遣し、運営支援を行った。

平成 30 年度 防災運動会

実施月日	2月9日
実施場所	サン・アビリティーズおおむた
実施内容	①非常食準備競争 ②大声競争 ③搬送リレー ④バケツリレー ⑤講話
参加人数	140 名



防災運動会の様子

④ 災害支援コーディネート力の強化（別掲 P5）

テーマ型ボランティア講座にて災害発生時における正しい情報発信を学ぶことで、情報発信を活用した、災害支援コーディネート力の強化を図った。



災害ボランティア講座の様子

(6) 地域支え合い活動の推進事業

地域住民等による生活支援活動や生活支援サービスをより充実させるため、「地域支え合いマップづくり」、「地域リーダー合同研修会」、「ふれあいサロン連絡会」などの取組みにおいて、地域包括支援センターに配置されている生活支援コーディネーター及び共創サポートと連携した。

(7) 共同募金等を活用した支え合い活動の推進事業

① 福岡県共同募金会大牟田市支会との連携

① 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の実績

地域福祉推進のための貴重な財源である「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」について、福岡県共同募金会大牟田市支会と連携して取り組んだ。今年度は資材として「ジャー坊ボールペン」を導入し、多くの市民への啓発に努めた。また、「大牟田版ミニチラシ」を配布したり、「FMたんと」へ出演し、PRを行うなど、使途の透明化を図った。



街頭募金運動の様子

【赤い羽根共同募金（運動期間：10月1日～12月31日）】

(単位：円)

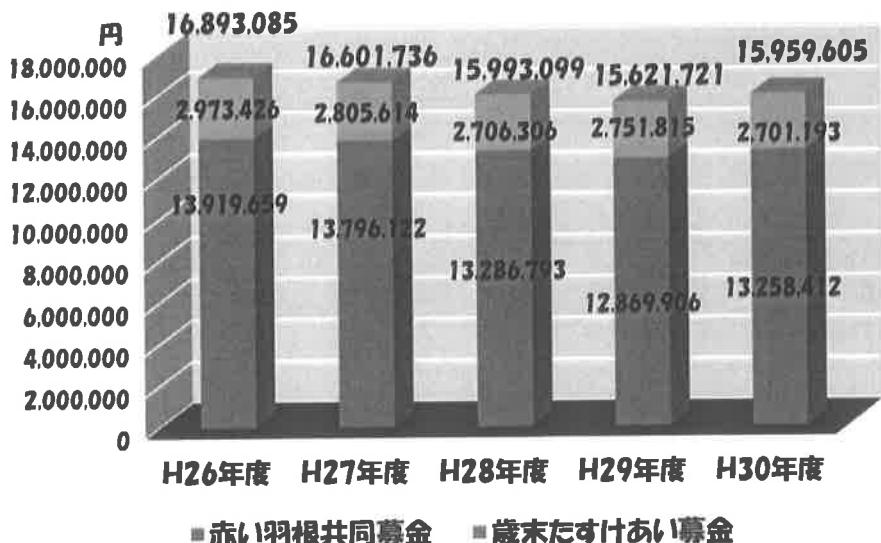
実績額	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
募金額	13,919,659	13,796,122	13,286,793	12,869,906	13,258,412
前年度比	95%	99%	96%	97%	103%

【歳末たすけあい募金（運動期間：12月1日～12月31日）】

(単位：円)

実績額	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
募金額	2,973,426	2,805,614	2,706,306	2,751,815	2,701,193
前年度比	95%	94%	97%	102%	98%

【共同募金実績の推移】



② 街頭キャンペーン等広報活動への参加

実施月日	実施場所	参 加 者
10月1日	JR大牟田駅	大牟田市長、福岡県共同募金会大牟田市支会長・理事、大牟田市社会福祉協議会長・役職員、大牟田市公式キャラクター「ジャー坊」、共同募金公式キャラクター「愛ちゃん」
	ゆめタウン	
	イオンモール	
12月1日	ゆめタウン	大牟田市長、福岡県共同募金会大牟田市支会長・理事、大牟田市社会福祉協議会長・役職員、大牟田市公式キャラクター「ジャー坊」
	イオンモール	

③ 「FMたんと」での広報活動

実施月日	内 容
9月 20 日	赤い羽根共同募金運動と使途について
11月 27 日	歳末たすけあい募金運動と使途について

④ 法人募金の実績

実績額	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
法人数(社)	406	406	394	440	446
募金額(円)	2,330,021	2,320,956	2,203,006	2,441,803	2,570,577
前年度比	98%	100%	95%	110%	105%

⑤ 寄付つき商品等の販売実績

寄付つき商品のプロジェクト「募金百貨店おおむた」に、今年度は 27 の企業・団体の参加があり、募金への協力を頂いた。

実績額	H28 年度	H29 年度	H30 年度
募金額(円)	160,366	166,880	150,241
前年度比	50%	104%	90%

⑥ 赤い羽根自動販売機の設置及び実績

大牟田市支会の特徴的な取り組みの一つである飲料水の売り上げの一部が寄付される「赤い羽根自動販売機」を市内に 50 台を設置し、以下の実績となった。

実績額	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
設置台数(台)	50	51	50	50	50
募金額(円)	922,509	967,393	895'088	856,232	886,666
前年度比	151%	105%	93%	96%	103%

⑦ 街頭募金の実施支援

運動期間中に、様々な団体が市内各所で街頭募金を実施し、周知啓発を行った。

【赤い羽根共同募金（運動期間：10月 1 日～12月 31 日）】

実施月日	実施場所	実施団体名
10月 1 日	JR 大牟田駅 ゆめタウン イオンモール	大牟田市長、福岡県共同募金会大牟田市支会長・理事、大牟田市社会福祉協議会長・役職員等
10月 1 日	ミスターマックス	天の原校区社協
10月 10 日	銀座通り商店街	中友校区民児協・子ども民生委員
10月 13 日	ゆめタウン	大牟田市ボランティア連絡協議会
10月 14 日	ゆめタウン	ボースカウト大牟田第 3 団
10月 15 日	マルショク吉野店他	吉野校区社協
10月 16 日	ゆめタウン	白川校区社協・ジュニア民生委員
10月 16 日	ゆめタウン	大牟田市ボランティア連絡協議会 大牟田市身体障害者福祉協会連合会
10月 26 日	文化会館(高齢者いきき祭りにおいて)	大牟田市老人クラブ連合会

11月 4日	サン・アビリティーズおおむた	サンアビまつり実行委員会
11月 6日	マルエイ大牟田店	天の原校区社協
11月 6日	ゆめタウン	大牟田中央校区まちづくり協議会
11月 10日	銀座通り商店街	中友校区民児協
11月 10日	ミスター・マックス	大牟田手話の会「ありあけ」
11月 11日	マミーズ羽山台店	羽山台校区まちづくり協議会
11月 11日	イオンモール	大正校区民児協
11月 13日	ゆめタウン	白川校区社協
11月 13日	イオンモール	大牟田高等学校
11月 17日	手鎌地区公民館 (文化祭会場において)	手鎌校区社協
11月 23日	ダイレックス歴木店	高取校区社協
12月 2日	ミスター・マックス	天の原校区社協
12月 4日	ゆめタウン	白川校区社協・ジュニア民生委員

【歳末たすけあい募金（運動期間：12月1日～12月31日）】

実施月日	実施場所	実施団体名
12月 1日	ゆめタウン イオンモール	大牟田市長、福岡県共同募金会大牟田市支 会長・理事、大牟田市社会福祉協議会長・ 役職員等
12月 6日	くらし館・新鮮市場サカイ	銀水校区民児協
12月 10日	銀座通り商店街	中友校区民児協
12月 12日	ゆめタウン	大牟田中央校区まちづくり協議会
12月 15日	JR大牟田駅・ゆめタウン	明光学園高等学校



中友小子ども民生委員街頭募金



白川小ジュニア民生委員街頭募金

⑧ 災害義援金の受付

受付期間	名 称	受付金額	受付件数
平成 28 年 4 月 15 日～	平成 28 年熊本地震災害	4,414,587 円	109 件
平成 29 年 7 月 10 日～	平成 29 年福岡大雨災害	2,364,367 円	49 件
平成 30 年 7 月 5 日～	平成 30 年福岡豪雨災害	225,596 円	15 件
平成 30 年 9 月 12 日～	北海道胆振東部地震災害	50,679 円	3 件

※平成 31 年 3 月 31 日までの受付状況

② 赤い羽根共同募金配分助成先（次年度）

各団体からの助成金申請を共同募金配分委員会で審査し、次年度事業として総額9,615,300円の助成先を決定した。

① 福祉教育推進校への助成（12校）

(単位：円)

No.	学校名	事業名	助成額
1	駿馬小学校	地域との連携による福祉の心を育む福祉教育事業	42,500
2	玉川小学校	体験からの学び（自然・ひと・もの・ことを大切にする教育）	50,000
3	大正小学校	障がい者・認知症・高齢者に関する福祉教育	35,000
4	中友小学校	高齢者・園児との交流や地域と連携した福祉教育	75,000
5	白川小学校	ジュニア民主委員・児童委員活動	27,000
6	羽山台小学校	高齢者及び障がいのある人との交流を通じた福祉の心を育む教育	45,000
7	吉野小学校	障がい者・認知症・高齢者に関する福祉教育	35,000
8	倉永小学校	地域との連携・交流を通じた福祉教育	100,000
9	手鎌小学校	郷土学習を中心とした福祉教育	36,000
10	橋中学校	認知症学習や保育実習、地域との交流、校内美化活動	32,500
11	白光中学校	誰もが住みよいまちづくりを考え行動することを目指す活動	50,000
12	明光学園中学校 ・高等学校	地域の方々と女子中高生とのスマイル福祉交流活動	116,011
計			644,011

② 福祉団体等への助成（10団体）

(単位：円)

No.	団体名	事業名	助成額
1	大牟田市 ボランティア連絡協議会	連絡協議会活動推進事業（研修・交流・広報の発行等）	50,000
2	大牟田要約筆記の会 「のぞみ」	難聴者の交流・学習の場づくりと啓発活動	50,000
3	大牟田朗読の会	朗読・情報発信などに関する研修会	50,000
4	大牟田市老人クラブ連合会	教養事業（各種研修・会報誌の発行等）	155,000
5	大牟田市 身体障害者福祉協会連合会	身体障がい者等の社会参加促進事業	200,000
6	NPO法人 つなぎ te おおむた	市民の災害対応力アップ事業	120,000
7	NPO法人 大牟田市母子寡婦福祉会	母と子の心れあい事業	100,000
8	NPO法人 大牟田市障害者協議会	第41回ふれあいパラリンピック&サン・アビマツリ	100,000
9	NPO法人 ともしひ会	精神障がい者等の社会参加促進事業	105,770
10	NPO法人 大牟田知的障害者育成会	障がい者施設見学研修	242,200
計			1,172,970

③ 助成金総額

(単位：円)

助成先	助成額
福祉教育推進校（12校）	644,011
福祉団体・ボランティア団体・NPO団体（10団体）	1,172,970
大牟田市社会福祉協議会地域福祉事業費	1,549,319
校区社会福祉協議会活動費（19校区）	6,249,000
合計	9,615,300

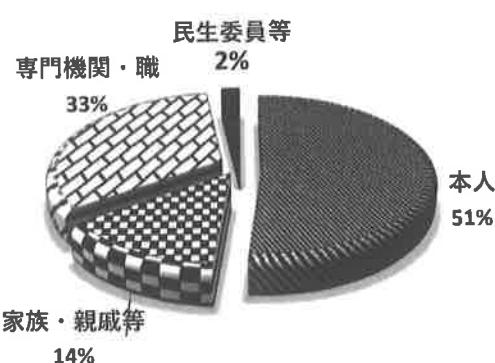
**【基本目標 3】生活課題の解決に向けた包括的な仕組みづくり
専門機関や住民と連携・協力し生活課題の解決を促進します。**

(1) 生活困窮者自立支援事業(市受託事業)

① 自立相談支援事業

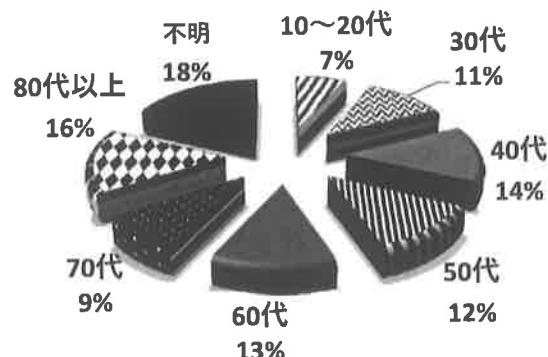
① 相談経路

新規相談件数は 321 件。生活保護世帯 88 件を加えると、年間 409 件の相談があり、月平均 34 件の相談となる。相談経路は「本人」からの直接相談（全体の 51.4%）、次に「専門機関・専門職」（32.7%）、「家族・親戚・知人」（14.0%）、「民生委員」「地域住民等」（1.9%）と続いている。昨年度と比較すれば、「専門機関・専門職」の割合が増加している。最近は学校や児童相談所といった子どもを支援する機関からの紹介や、緊急避難が必要な場合にシェルター利用をきっかけとした相談も増えてきている。また、刑余者の支援や火災後の生活支援など他の制度で対応が難しい相談が寄せられている。



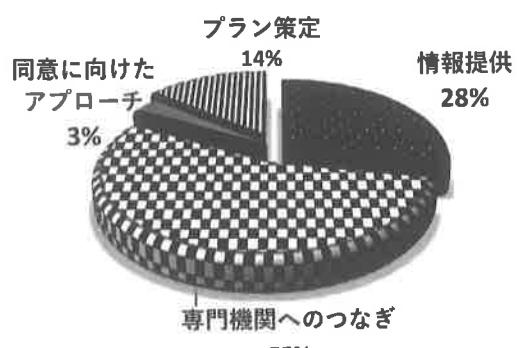
② 年代及び相談内容

年代別の割合は、40 歳代からの相談が 14.0%、50 歳代からが 12.5% と働く年代の相談が多くなっている。その年齢層の中には車中生活やネットカフェ生活を送っている人からの相談があった。70 歳代・80 歳代からは医療費や生活支援の相談が多くなっている。



③ スクリーニング結果

スクリーニング結果については、今年度も「専門機関等へのつなぎ」が相談件数の半分以上（55.1%）を占めている。また、新規プラン策定件数は 44 件。短期の支援も多く、プランにつながる件数は少ないが、情報提供・相談対応についても社会資源について調整や交渉をしたりしている場合も多い。その際には専門機関へのつなぎと同じように同行支援等を行っている。プラン策定以外のケースについても、定期的に連絡等を取り、生活状況の確認を行っている場合が多い。



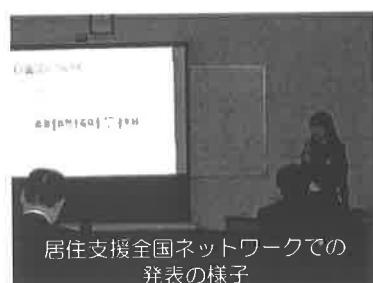
④ 専門機関へのつなぎ先

後見センターや市営住宅管理センター等の協力により、中古家電製品のストックができている。それらを活用することで従来の食糧支援に加え、日用品の提供等ができ、本会で対応できるケースが増えている。

つなぎ先 ※重複有り	件数	つなぎ先 ※重複有り	件数
キャロットサービス	70 件	日常生活自立支援事業	1 件
生活福祉資金	46 件	地域包括支援センター	3 件
生活保護制度	5 件	障害者相談支援事業所	1 件
食糧支援	40 件	医療機関	2 件
日用品等支援	6 件	シェルター	2 件
家電等支援	2 件	ハローワーク	1 件
社会福祉法人地域公益活動協議会	10 件	ライフサポートセンター	3 件
家計相談支援（グリーンコープ）	14 件	大牟田市母子寡婦福祉会	1 件
合 計		207 件	

⑤ 相談窓口の周知

全戸配布の社協だより「きらり」及び事務局通信「きらり」に加え、生活支援相談室 Facebook にて就労体験の様子や活動状況について発信した。また若年層の人が相談しやすくなるようメールアドレス開設やラジオ「FM たんと」において、生活支援相談室の PR を行った。さらに、各校区社会福祉協議会や民生委員・児童委員協議会をはじめとする地域活動実践者の会議や研修での説明も継続して行っている。また、潜在的な相談者を発見するため、福岡県社会福祉協議会が実施している生活福祉資金の償還指導への同行や、学校の教員向けの説明なども行っている。



居住支援全国ネットワークでの
発表の様子



手錠校区合同研修会の様子

⑥ 食糧支援の充実等

相談を受ける中で、食べるものにも困っている人が多くいることが分かり、これまでも「大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会」「グリーンコープ生活協同組合ふくおか」及び「大牟田市母子寡婦福祉会」と連携し、食糧の提供等を行ってきた。平成 30 年度は食糧支援等については、「大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会」と連携し、ミルクや日用品の提供を実施した。さらに「フードバンク大牟田」からの協力申し入れなどもあり、支援の輪を徐々に広げる活動を行った。（別掲P30）

⑦ 専門機関との連携

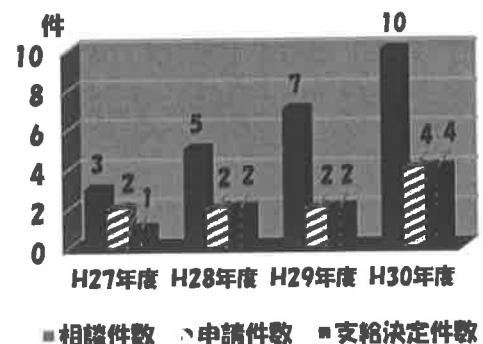
依存症に関する支援のため、他機関とのプロジェクトへの参加や依存症支援の専門機関への視察、勉強会を行った。またシェルターを運営する法人や不動産会社など、住まいを支援する上で必要な機関とも連携を図っている。

（別掲P49）

② 住居確保給付金事業

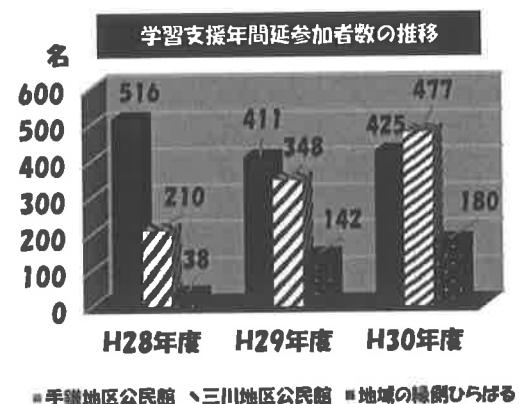
住居確保給付金は、離職者であって就労能力・就労意欲のある人の中で、住宅を喪失しているか、喪失するおそれのある人に対して、家賃相当額を支給することにより、住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行ふことを目的としている。

この事業を実施するに当たっては、市健康長寿支援課やハローワークと連携し、「生活保護受給者等就労自立促進事業」を活用した就労支援や、必要に応じて本会が窓口である生活福祉資金貸付事業を併用しながら、当事者の支援にあたった。



③ 学習支援事業

低所得世帯や不登校の中学生等を対象に、市内3カ所において、学習支援を行うとともに、子どもの居場所づくりを行った。加えて、進学に伴う生活福祉資金（就学資金）の紹介や進路等の悩み事の相談を受けた。また、学習支援事業を利用し、高校に進学した生徒も受け入れ、高校中退防止に努めた。さらに学習支援ボランティアとの情報共有や意見交換会を定期的に実施し、学習支援等のスキル向上に努めた。



① 実施場所・時間

※縁側ひらばるは、特定非営利活動法人コレクティブに委託

実施場所	実施曜日・時間		
手鎌地区公民館	毎週木曜日	18:00～20:00	（第5木曜日を除く）
三川地区公民館	毎週木曜日	18:00～20:00	（第5木曜日を除く）
地域の縁側ひらばる	毎週土曜日	10:00～15:00	

② 参加者・ボランティア（平成31年3月31日現在）

実施場所		手鎌地区公民館	三川地区公民館	地域の縁側ひらばる
登録者数 (高校生)	H30年度	2名	2名	3名
	H29年度	0名	1名	0名
登録者数 (中学生)	H30年度	21名	7名	8名
	H29年度	26名	8名	8名
登録者数 (小学生)	H30年度	3名	15名	0名
	H29年度	5名	11名	3名
年間参加者数		延425名	延477名	延180名
ボランティア数	H30年度	8名	8名	9名
	H29年度	7名	6名	8名

③ 学習支援ボランティア全体会議

実施月日	第1回：7月17日 第2回：11月27日
実施場所	総合福祉センター
実施内容	実績報告、情報共有、今後についての意見交換
参加人数	第1回：ボランティア 12名、市職員 2名、社協職員 4名 第2回：ボランティア 7名、市職員 4名、社協職員 4名

④ 就労準備支援事業

ひきこもり等の理由ですぐに一般就労が難しいと思われる人に対し、①生活習慣形成のための生活自立支援、②就労の前段として必要な社会的能力の習得のための社会的自立支援、③一般就労のための基礎能力を身につける就労自立支援等、段階に応じた支援を行った。

① 相談内容

利用件数は 25 名、69 件。資産や収入等利用要件に該当しない場合や、他の制度につなぐことが多いため、就労準備支援プログラム作成件数は 2 件と少なかつたが、外に出て来れるまで、継続的に訪問や電話、手紙でやり取りをする等、じっくり時間をかけ支援を行っている。

② 就労体験先確保

本会の学童保育所やデイサービスと連携し、就労体験を実施した。またキャロットサービスで行う草取りや家事支援などとも連携した「キャロット DE 就労体験」を開始した。また、障害者就労の支援機関とも会議を持ち就労体験先の確保に努めた。

No.	就労体験先名	体験内容
1	大牟田市社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・キャロットサービス同行 ・デイサービス補助業務 ・事務作業等 ・学童保育所支援員補助業務
2	キリスト者奉仕会	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーニング業 ・タオル製造業 ・調理等
3	あけぼの会	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の掃除や電球の交換 ・入所者の洗濯 ・施設まわりの草取り
4	ホワイト急便	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーニング工場 ・じゅうたん工場 ・接客等
5	ヤヨイサンフーズ	・食品加工工場業務
6	大塚食品	・きのこ製造業
7	エフコープ	・配送、倉庫内業務
8	イオン九州	・小売業

③ 専門機関との連携

ひきこもりの支援や、発達障がいの疑いがある相談者の支援のため、障害者就労移行支援事業所やハローワークのカウンセラーとの連携を行い、アセスメントを通して発達障がいの診断につながり、障害者就労支援につながっている。

(2) 大牟田市成年後見センター運営事業(市受託事業)

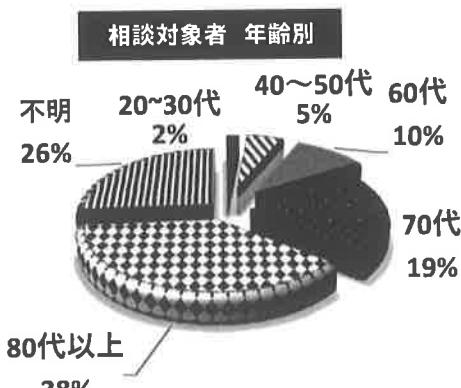
大牟田市成年後見センター（以下「センター」という。）は、認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由により、判断能力が不十分な方々の権利を擁護し、支援するための法制度である成年後見制度の利用促進を図るとともに、市民後見人の養成・活用を行うことで、地域でその人らしく安心して暮らせるよう支援することを目的にセンター運営事業を実施した。

① 成年後見制度の利用や権利擁護に関する相談・助言及び対応

センターの初回相談者数は123件（実人数）。

相談対象者、相談経路、相談内容等別の傾向としては、昨年度と大差ない結果となっているが、「相談経路」として金融機関や病院・施設職員からの相談が増加傾向にある。

また、初回相談数のうち、初回のみで終結63件、継続支援60件で、継続支援の延回数は449回となり、1件につき平均7.4回支援している。



② 市民後見人の養成・登録

成年後見活用講座

目的	より多くの人が成年後見制度を学び、活用できるようになることで、地域社会における権利擁護の推進を図る。
開催日	①5月15日～6月12日 毎週火曜日（全5回） ②7月12日～8月9日 每週木曜日（全5回）
会場	総合福祉センター 中会議室
参加者	①受講生26名、修了生25名 ②受講生19名、修了生17名

市民後見人実務養成講座

目的	地域社会における権利擁護の推進を図るために、市民後見人登録申請及び活動を前提とした人材を養成する。
開催日	9月25日～11月27日 毎週火曜日（全10回）
会場	総合福祉センター 中会議室
参加者	受講生7名、修了生7名

市民後見人実務者講座

目的	市民後見人登録者の資質の向上と次年度の登録更新における必須の更新研修として開催。
開催日	1月24日
会場	総合福祉センター 大会議室
参加者	受講対象者30名、受講者27名

市民後見人の登録（第6期生の登録）

目的	本会で受任している被後見人等への支援者として活動する市民後見人登録者を選考・登録する。	
12月18日	平成30年度 市民後見人選考会 選考登録部会	参加者：6名
1月25日	市民後見人登録手続き 締切	登録者：6名

※平成31年3月末現在 市民後見人登録数36名

③ 市民後見人活用による法人後見受任及び市民後見人活動の支援

今年度は、新たに22件法人受任し、財産管理や市民後見人による訪問等の支援を行った。

法人後見受任

総受任件数	67件(後見49、保佐14、補助4)
実働件数	50件(後見35、保佐11、補助4)
死亡件数	17件(後見14、保佐3)

市民後見人活動

活動件数	25件
活動人数	17名

④ 成年後見制度や権利擁護に関する啓発

① 出前講座の実施：14件

実施日	申込者・対象者	参加者数
4月25日	申込：大牟田保養院 対象：認知症カフェ参加者	23名
6月12日	申込：親仁会ケアプランセンター 対象：ケアマネジャー	10名
6月13日	申込：社会福祉協議会（日常生活自立支援事業） 対象：生活支援員	23名
6月20日	申込：社会福祉協議会（職員全体研修） 対象：社協職員	58名
7月22日	申込：大牟田ワークショップセンター家族の会 対象：利用者家族	33名
8月22日	申込：地域包括支援センター 対象：社会福祉士	11名
8月22日	申込：社会福祉協議会（福祉サービス職員研修） 対象：登録ヘルパー	19名
9月7日	申込：玉川校区社会福祉協議会 対象：民生委員、福祉委員	25名
11月7日	申込：済生会大牟田病院 対象：法人職員	47名
11月14日	申込：大牟田市 対象：あんしん介護相談員	5名
11月15日	申込：こんの病院 対象：法人職員	30名
1月13日	申込：認知症コーディネーター 対象：認知症コーディネーター養成研修参加者	23名
1月15日	申込：八女市社会福祉協議会 対象：法人職員	35名
2月21日	申込：瓦町公民館 対象：地域住民	16名

② 成年後見啓発フォーラムの実施（第10回大牟田市地域福祉大会：別掲P11）

実施月日	2月10日
実施場所	大牟田文化会館 小ホール
実施内容	基調講演「元気なうちに考える「死後」のこと」 寸劇「どうしよう？預金がおろせない」
参加人数	524名
無料相談会	相談者4名

⑤ 成年後見制度や権利擁護の関係機関との連携

① 事務局として開催

運営管理委員会	後見センター事業の適正な運営を管理・監督を目的として年3回開催
受任検討委員会	市民後見人の活用を前提に法人受任することの協議を目的として年8回開催
執務管理部会	後見センターに登録した市民後見人の活動が円滑に実施されるよう監督・指導・助言を目的として年12回開催
成年後見事務連絡会	成年後見制度の円滑な運用を図るために各関係機関が集まり事務手続きを中心に情報共有を目的として年1回開催
成年後見ラウンド会議	成年後見制度の円滑な運用に必要な体制整備についての協議を目的として年3回開催

② 委員または構成メンバーとして出席

大牟田市権利擁護連絡会	権利擁護に関わる支援者間での情報共有及び連携を図ることを目的に年4回出席
地域認知症サポート定例カンファレンス	多職種が集まり多角的な視点で意見交換をすることによって課題整理や今後の支援につなげることを目的に年12回出席

（3）日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などに不安がある方々が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、利用者本人の意思決定や手続きへの助言など、暮らしを支えるための支援を行った。

また、地域の住民に生活支援員として関わってもらう上で、利用者が地域との繋がりを維持・回復させる事が出来る等、孤立化を防ぐことも出来ている。

事業開始以来、利用者数は増加し続けており、中でも生活保護受給者の利用が増加していることもあり、本事業に対するニーズは、今後もますます増えていくものと思われる。

このような状況を受け、市民センター養成講座の開催や地域組織等への事業説明を行い、事業の広報・啓発を行うとともに、生活支援員の確保にも努めたい。

① 生活支援員研修会

第1回 生活支援員研修会

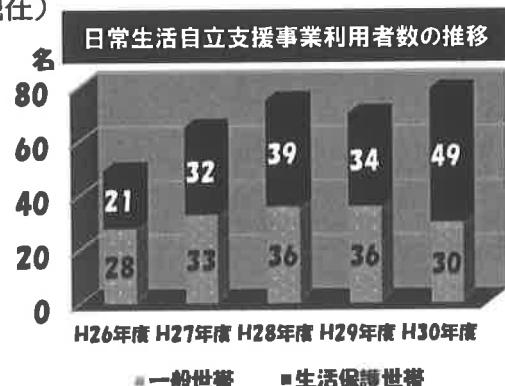
実施月日	6月13日
実施内容	講義「日常生活自立支援事業と成年後見制度について」
参加者	23名

第2回 生活支援員研修会

実施月日	2月13日
実施内容	相談援助技術について
参加者	21名

② 日常生活自立支援事業支援実績（3月末現在）

区分	H30年度
利用者数	79名（49名）
新規契約数	30名（18名）
延べ利用件数	1,306件（824件）
生活支援員	44名 (生活保護受給者数)



(4) 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

低所得者、高齢者及び障がい者等の世帯に対して、生業、住宅、災害、福祉、就学、緊急小口、離職者等の各種資金の貸付相談の受付を行い、ケースによっては民生委員の協力を得ながら、借受世帯の自立に向けた指導、支援を行った。今年度は、猛暑による生活保護世帯からのエアコン設置や就学資金に係る申込件数の増加に伴い、申込件数、金額ともに大幅な増加が見られた。また、福岡県社会福祉協議会が実施する滞納世帯への訪問に同行し、生活困窮者自立支援事業との連携も行った。

実績件数	相談件数	貸付決定件数	延滞利子支払免除申請件数	償還猶予申請件数
H30年度	125件	88件	0件	1件
前年度比	92.6%	225.6%	(前年1件)	(前年2件)

(生活福祉資金貸付状況)

(単位：千円)

	H28年度		H29年度		H30年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
生活支援費	1	600	1	600	3	1,200
住宅入居費	0	0	0	0	0	0
一時生活再建費	0	0	0	0	1	440
福祉費	2	669	7	4,934	7	5,441
福祉費 (生活保護世帯)	13	961	11	877	29	2,404
緊急小口	13	1,227	14	1,352	25	2,330
教育支援費	14	25,762	5	4,396	21	38,650
就学支度費	1	252	1	205	2	686
その他	0	0	0	0	0	0
合計	44	29,471	39	12,364	88	51,151

(5) 大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会への参加・連携・協働

平成27年に16法人にて創設した『大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会』も4年目を迎えることになった。同年9月に、「生活困窮者レスキュー事業」を発足させ、これまで中々解決できなかった“制度の狭間”となる福祉課題を、スピードをもって解決にあたった。平成30年度は、新たに1法人が加盟し、26法人の加盟となった。

① 年間活動報告

日 程	主 な 活 動 内 容
4月 16日	・第1回 役員会
4月 25日	・平成29年度 監査
4月 26日	・平成30年度 総会（事業報告・決算、事業計画・予算）
4月 27日	・鹿児島県市町村社協セミナー 講師派遣
5月 11日	・長崎県市町村社協事務局長等会議 講師派遣
5月 28日	・宮崎県内社協会長・事務局長会議 講師派遣
6月 1日	・第1回 運営委員会
7月 4日	・ゴミ屋敷清掃（高取校区）
7月 10日	・久留米市災害ボランティアセンターへ資機材購入・搬入
7月 18日	・ゴミ屋敷清掃(白川校区) ~19日まで
7月 27日	・曾於市社協研修 講師派遣
8月 8日	・第2回 運営委員会
8月 27日	・立命館大学・岐阜経済大学 講師派遣
9月 1日	・輝の子福祉会加入
9月 6日	・九州ブロック地域福祉研究会 大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会の実践発表
9月 11日	・柳川市社会福祉法人連絡調整会議 講師派遣
9月 20日	・伊万里市 地域福祉活動協働推進会議 講師派遣
9月 21日	・大牟田南ロータリークラブ 講師派遣
9月 27日	・久留米市ライフレスキュー研修 講師派遣 ・ゴミ屋敷清掃(大正校区)
9月 28日	・大阪市視察研修 ~29日まで
10月 1日	・社協だより 公益協記事掲載
10月 10日	・第3回 運営委員会
10月 16日	・霧島市社協研修 講師派遣
10月 23日	・大牟田市社協職員研修
11月 1日	・日南市視察 講師派遣
11月 15日	・九州都市社協連絡協議会 講師派遣
11月 16日	・ゴミ屋敷清掃(中友校区)
11月 17日	・公益協法人間連携研修会実施
11月 20日	・多久市社協研修 講師派遣
12月 2日	・母子寡婦福祉会講話 講師派遣
12月 4日	・第2回 役員会
12月 8日	・九州大谷短期大学講話 講師派遣
12月 11日	・筑後地区社協職員連絡会地域福祉部 講師派遣
12月 12日	・中間市遠賀郡社協連絡協議会 講師派遣
1月 10日	・ゴミ屋敷清掃(羽山台校区)
1月 18日	・日南市社協職員研修 講師派遣
2月 12日	・東京都立川市社協 講師派遣
2月 15日	・吉野地区地域包括エリアケアマネージャー研修 講師派遣
2月 18日	・宮崎県高鍋町 講師派遣
2月 21日	・鹿児島県肝付町 講師派遣
2月 26日	・第4回 運営委員会
3月 1日	・広報おおむた 特集号掲載
3月 6日	・ゴミ屋敷清掃(平原校区)
3月 7日	・中間市市民生活相談センター研修 講師派遣
3月 12日	・鹿島市社協 講師派遣
3月 26日	・NPO法人抱樸 講師派遣

② 生活困窮者レスキュー事業

① 食糧支援 …生活保護受給等や貸付金が出るまでのつなぎとして食糧支援を実施した。

月別	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	上半期(A)	
食材支援	14件	16件	0件	16件	13件	19件	78件	
	132食	116食	0食	156食	152食	154食	710食	
配食サービス	9件	1件	0件	0件	0件	0件	10件	
	18食	2食	0食	0食	0食	0食	20食	
合計	14件	17件	0件	16件	13件	19件	88件	
	132食	117食	0食	156食	152食	154食	730食	
月別	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	下半期(B)	合計(A)+(B)
食材支援	26件	13件	11件	18件	5件	3件	76件	154件
	208食	162食	76食	198食	28食	38食	710食	1,420食
配食サービス	0件	10件						
	0食	20食						
合計	26件	13件	11件	18件	5件	3件	76件	164件
	208食	162食	76食	198食	28食	38食	710食	1,440食

※1件あたり、4日程度の食材提供（米、缶詰、レトルト食品、インスタント食品等）。

配食サービスについては、1日あたり、1件で2食（昼・夜）を提供。

食糧支援については、社福公益協、グリーンコープ、母子会等で対応している。

食糧支援提供元	種別	食数
大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会	食材支援	1,420食
	配食サービス	20食
グリーンコープ生活協同組合ふくおか	食材支援	12,977食
	食事支援	17食
合計食数		14,434食



② 日用品支援…生活保護受給等や貸付金が出るまでのつなぎとして紙オムツやトイレットペーパー、ティッシュ、ガスボンベ等の支援を実施した。

月別	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	
日用品提供	2件	0件	1件	0件	2件	5件	
月別	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
日用品提供	3件	4件	4件	4件	2件	3件	30件

③ 給付支援

緊急時の宿泊費の給付支援を行った。

No.	給付資金用途	金額	泊数
1	宿泊費(M氏)	17,200円	4泊
2	宿泊費(M'氏)	5,000円	1泊
3	宿泊費(K氏)	59,040円	19泊
4	宿泊費(Y氏)	5,080円	1泊
5	宿泊費(T氏)	23,000円	5泊
合計		109,320円	30泊

④ つなぎ資金貸付

No.	つなぎ資金貸付使途	貸付金	貸付残額	償還状況
1	生活費支援（生活福祉資金交付までのつなぎ）	30,000 円	0 円	済
2	公共料金滞納（生活保護受給までのつなぎ）	18,470 円	0 円	済
3	生活費・移動費・引っ越し費用（給料までのつなぎ）	155,527 円	119,506 円	滞納
4	生活費支援（ライフレスキュー交付までのつなぎ）	44,944 円	0 円	済
5	エアコン設置（生活福祉資金交付までのつなぎ）	89,000 円	89,000 円	滞納
6	公共料金滞納（生活保護までのつなぎ）	10,181 円	0 円	済
7	エアコン設置（生活保護までのつなぎ）	40,600 円	5,600 円	返済中
8	エアコン設置（生活福祉資金交付までのつなぎ）	100,000 円	0 円	済
9	エアコン設置（生活福祉資金交付までのつなぎ）	67,000 円	0 円	済
10	エアコン設置（生活福祉資金交付までのつなぎ）	62,640 円	0 円	済
11	エアコン設置（生活福祉資金交付までのつなぎ）	107,000 円	0 円	済
12	生活費支援（給料までのつなぎ）	20,000 円	0 円	済
13	生活費支援（生活保護までのつなぎ）	20,000 円	0 円	済
14	公共料金滞納（生活保護までのつなぎ）	11,653 円	0 円	済
15	住民票・生活費支援（生活福祉資金交付までのつなぎ）	15,300 円	15,300 円	滞納
16	引越し費用支援（生活保護までのつなぎ）	162,034 円	0 円	済
17	生活費支援（給料までのつなぎ）	30,000 円	5,000 円	返済中
18	生活費支援（生活保護までのつなぎ）	40,957 円	30,957 円	返済中
19	生活費支援（生活保護までのつなぎ）	10,000 円	10,000 円	滞納
20	生活費支援（生活福祉資金交付までのつなぎ）	30,000 円	0 円	済
21	生活費支援（生活保護までのつなぎ）	58,000 円	55,000 円	返済中
22	生活費支援（生活福祉資金交付までのつなぎ）	10,000 円	0 円	済
23	公共料金滞納（生活保護までのつなぎ）	13,411 円	0 円	済
24	教育費支援（生活福祉資金交付までのつなぎ）	100,000 円	50,000 円	返済中
25	生活費支援（年金までのつなぎ）	20,000 円	0 円	済
26	公共料金滞納（給料までのつなぎ）	10,523 円	10,523 円	滞納
27	家電購入費（生活保護までのつなぎ）	70,000 円	0 円	済
28	生活費支援（生活福祉資金交付までのつなぎ）	5,000 円	0 円	済
29	公共料金滞納（ライフレスキューまでのつなぎ）	13,688 円	0 円	済
30	入居費立替（生活保護までのつなぎ）	121,350 円	0 円	済
31	生活費支援（ライフレスキューまでのつなぎ）	14,939 円	0 円	済
32	教育費支援（生活福祉資金までのつなぎ）	42,000 円	0 円	済
33	生活費支援（成年後見制度までのつなぎ）	10,000 円	10,000 円	未到来
34	生活費支援（年金までのつなぎ）	19,105 円	19,105 円	未到来
35	入居費立替（雇用保険までのつなぎ）	32,000 円	32,000 円	未到来
合 計		1,605,322 円	451,991 円	

⑤ ゴミ屋敷清掃…6 件

- ・ 高取校区ゴミ屋敷清掃活動 【日程】 7月 4日 【参加者】 55 名
- ・ 白川校区ゴミ屋敷清掃活動 【日程】 7月 18~19 日 【参加者】 28 名
- ・ 大正校区ゴミ屋敷清掃活動 【日程】 9月 27 日 【参加者】 22 名
- ・ 中友校区ゴミ屋敷清掃活動 【日程】 11月 16 日 【参加者】 14 名
- ・ 羽山台校区ゴミ屋敷清掃活動 【日程】 1月 10 日 【参加者】 27 名
- ・ 平原校区ゴミ屋敷清掃活動 【日程】 3月 6 日 【参加者】 34 名



- ⑥ 平成30年7月豪雨災害支援
久留米市災害ボランティアセンターへ、汚水ポンプ・サーチュレーター等の資材、236,206円分の支援を行った。(別掲P15)
- ⑦ シェルター(一時避難や住居が決まるまでの居住地として設定)
住居を喪失した生活困窮者に対して、生活保護申請から受給し、住まいを決定するまでの間や、やむを得ない事情により生活を再建するまでの間、社会福祉法人の物件を短期間、無償貸与、光熱水費についても法人にて負担などの地域貢献事業を展開している。食料支援は並行して実施。

【シェルター利用状況】

No.	シェルター利用者	日 数
1	M氏	4月 4日～5月22日(49日間)
2	J氏	8月 30日～9月21日(23日間)
3	H氏	3月 5日～3月31日(27日間)継続中

※入浴室のみの利用もあり。

- ⑧ 就労体験
引きこもり等で一般就労が難しい相談者に対して、加盟法人に協力してもらい、一般就労に向けての就労体験を行った。(別掲P24)

No.	氏名	就労受け入れ法人	回数
1	Y氏	大牟田市社会福祉協議会	延5回

⑨ 参加法人一覧

大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会 参加法人名(主な施設)	
① 東翔会(サンフレンズ)	⑯ 地域福祉を考える会(エンゼル)
② 福因寺福祉会(延寿苑)	⑮ 聖光園(上官保育園)
③ それいゆ(こもれび)	⑯ 久福木福祉会(久福木の森保育所)
④ グッドタイムズ(サンホリティー)	⑰ 小鳩福祉会(小鳩保育園)
⑤ 大牟田市福祉事業協会(昌普久苑)	⑮ 甘木山学園(甘木山学園)
⑥ 恩賜財団済生会(ライフケア院)	⑯ 三川福祉会(竹の子保育園)
⑦ 博愛福祉会(吉野園)	⑰ 白鷺福祉会(白鷺保育園)
⑧ 原交会福祉会(サンク福木)	㉑ 萩尾福祉会(萩尾保育園)
⑨ けんこう(美さと)	㉒ 依修多羅福祉会(三池保育園)
⑩ 天光会(天光園)	㉓ みずほ保育園(みずほ保育園)
⑪ キリスト者奉仕会(大牟田恵愛園)	㉔ しらぬい保育園(不知火保育園)
⑫ あけぼの会(あけぼの学園)	㉕ 輝の子福祉会(草木保育園)
⑬ 日本厚生学園(りんどう学園)	㉖ 大牟田市社会福祉協議会

(6) 大牟田市居住支援協議会活動支援事業

(国交省:重層的住宅セーフティネット構築支援事業補助)

地域資源としての空き家の活用と住宅確保要配慮者の円滑な入居促進及び安心して暮らせる仕組みづくりを推進するため、事務局として不動産・福祉・医療・行政等の各団体と連携して取り組んだ。

① 相談実施状況

空き家所有者及び入居希望者の相談対応を行った。

相談件数: 110件(入居相談: 70件・建物相談: 25件・その他: 15件)

② 入居支援の実施及び空き家活用の促進

所有者より物件提供があった空き家を活用し、住宅確保要配慮者の入居マッチングを実施した。 契約件数: 2件(母子世帯1件、高齢者単身世帯1件)

- ③ 不動産業者における住宅確保要配慮者に対する支援体制に関する調査研究の実施
不動産業者の事業実態を把握することで、住宅確保要配慮者向けに住宅を提供してくれる協力店発掘に繋げ、今まで以上に入居促進が図りやすくすることを目的に、有明工業高等専門学校創造工学科建築コースと連携し、大牟田市内及び近隣の不動産業者を対象にアンケート調査及びヒアリング調査を実施した。

【調査期間】7月～2月

④ 定期的な相談会の実施・住まいに関するセミナーの開催

① 空き家活用無料相談会の開催（年2回）

【開催日】8月11日

【相談件数】13件

【会場】総合福祉センター 大会議室



空き家無料相談会

【開催日】2月3日

【相談件数】18件

【会場】総合福祉センター 大会議室



セミナーの様子

② 「人口減少時代における空き家問題解決セミナーinおおむた」の開催

住宅確保要配慮者の実態を認識し、コミュニティとまちづくりや改正住宅セーフティネット法の紹介をすることで、空き家所有者が空き家問題と向き合うきっかけにしてもらうことを目的に開催した。

【開催日】11月20日

【会場】大牟田文化会館 小ホール

【参加者】130名

(7) 知的障がい児・者医療支援プロジェクトへの参加・連携・協働

発達障がいや知的障がいのある方が医療機関を受診する際にスムーズな受診の手助けとなるように発足された本プロジェクトでは、医療機関との連携強化、教育委員会との連携強化、当事者家族への周知・啓発、医療支援手帳・絵カード等の活用、大牟田市障害者計画策定への参画などを重点的に取り組んでいる。

今年度は、医療支援手帳の活用が円滑に進むように、教育委員会との意見交換を行った。また、視覚支援となる絵カード等についての研修を行い、絵カードの基本的な役割や視覚支援について学ぶ機会を設けた。次年度は医療機関や教育委員会など関係機関との連携を図ることで、当事者も含めた医療支援手帳の活用を進めていく。

【プロジェクト会議等】

実施月日	主な内容	参加者数
4月25日	第48回知的障がい児・者医療支援プロジェクト会議 (1) 平成29年度活動報告について (2) 平成30年度活動計画(案)について (3) 教育委員会への要望について	17名
5月 8日	大牟田医師会看護学校 知的障がい児・者医療支援に関する報告会	42名

6月 27日	第49回知的障がい児・者医療支援プロジェクト会議 (1) 教育委員会への要望について (2) プロジェクト会議の在り方について（案）	14名
8月 22日	第50回知的障がい児・者医療支援プロジェクト会議 (1) 教育委員会への要望について (2) プロジェクト会議の体制（案）について	12名
12月 4日	大牟田市教育委員会との意見交換会	8名
12月 26日	第51回知的障がい児・者医療支援プロジェクト会議 (1) 教育委員会への要望について（報告） (2) プロジェクトコア会議の体制（案）について	13名
3月 25日	絵カード等視覚支援（基本編）を学ぶ研修会	30名



絵カードの研修会の様子



特別支援学校の救急車体験

（8）おおむた子ども・地域食堂ネットワーク会議への参加・連携・協働

市内5校区の子ども・地域食堂関係者、社会福祉法人甘木山学園、本会等が連携し、「おおむた子ども・地域食堂ネットワーク会議」を開催した。おおむた子ども・地域食堂ネットワーク会議は関係者の情報共有や食品衛生に関する研修を実施することで食堂運営を円滑に行うこととする目的としている。今年度は保健衛生をテーマに研修会を開催し、食中毒について理解を深めた。また、社会福祉法人甘木山学園より5カ所の子ども・地域食堂に対し、運営助成金をいただいた。



おおむた子ども・地域食堂ネットワーク会議

おおむた子ども・地域食堂ネットワーク会議	
開催日	9月10日
参加団体	大牟田中央校区子ども食堂、大正校区子ども食堂、高取ふれあい子ども食堂、吉野校区ふれあい食堂、平原ふれあいサロン食堂、社会福祉法人甘木山学園、大牟田市社会福祉協議会 ※オブザーバー参加：社会福祉法人あけぼの苑

① 子ども・地域食堂の支援

多世代が食を通じて交流できる場として市内5カ所の子ども・地域食堂の運営を支援した。具体的な支援内容としては、子ども・地域食堂に活用してほしいということで本会へいただいた野菜や米等の寄贈を各食堂へ配分した。また、運営助成金として歳末たすけあい募金を財源とし、本会より助成金を交付した。また、新たに子ども・地域食堂の開設を目指す校区及びその他の団体等に対しても、立ち上げ支援を行った。

【子ども・地域食堂一覧】

校区名	名 称	開催時間・場所
大牟田中央	大牟田中央校区子ども食堂	毎月第 2 土曜日 11:00~13:00 地域交流センター ちくまち
大 正	大正校区子ども食堂	毎月第 2 土曜日 11:00~13:00 大正校区コミュニティセンター
高 取	高取ふれあい子ども食堂	毎月第 3 土曜日 11:00~13:00 米の山ふれあいセンター
吉 野	吉野校区ふれあい食堂	毎月第 3 日曜日 11:30~13:00 吉野地区公民館
平 原	平原ふれあいサロン食堂	毎月第 1 土曜日 11:30~13:30 総合福祉センター

【子ども・地域食堂への寄付・寄贈一覧】

寄付・寄贈元	内 容
大牟田中央ライオンズクラブ 様	寄付金
室町ケミカル株式会社 様	パインの青汁ゼリー
西日本新聞大牟田みやま部会 様	寄付金
九セラ株式会社 様	食器一式
市内外の農家 様	野菜・米等



大牟田中央校区子ども食堂



大正校区子ども食堂



高取ふれあい子ども食堂



吉野校区ふれあい食堂



平原ふれあいサロン食堂



子ども・地域食堂ネットワーク会議

(9) 各種相談事業

① 行政書士による法務相談（毎月第 3 水曜日）

毎月第 3 水曜日に行行政書士による法務相談を実施し、家庭、離婚、金銭貸借、財産相続、事故等の相談に親身になって対応し、高度な対処法については無料弁護士相談や関係機関へ橋渡しをした。平成 30 年度の相談件数は 43 件であった。

② 福祉サービス苦情解決相談

在宅福祉サービス等利用における様々な問題について、当事者間で解決できない場合は、「第三者委員会」を設置し、その解決を図ることとしている。
平成 30 年度は相談依頼がなく、開催していない。

4. 安心して子育てできる環境の整備に努めます。

(1) ぐぬぎ保育所の運営

保育の更なる充実に向けて、障がい児との統合保育、食育の推進、多世代地域交流、子育て支援の拠点づくりなどを行った。

今年度は入所園児数100名（定員90名）でスタートし、年度末には112名の園児が在籍した。



歴木保育所運動会

【四半期ごとの園児数】

(単位：名)

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
6月	12	17	19	22	18	19	107
9月	14	17	19	22	18	19	109
12月	16	17	19	22	18	19	111
3月	18	17	19	21	18	19	112

【主な行事内容】

実施月日	行事内容	実施月日	行事内容
4月 7日	入園・進級式	10月 7日	運動会
4月 13日	3.4.5歳児遠足	10月 29日	稲刈り
6月 11日	プール開き	11月 10日	親子みそ作り
6月 28日	田植え体験	12月 16日	クリスマス会
7月 14日～15日	年長お泊り保育	12月 28日	お餅つき
7月 27日～28日	お祭りごっこ ちびっこ総踊り	3月 8日	お別れ遠足
9月 1日	親子ふれあいバザー	3月 21日	卒園式

① 食育の推進

安全な食材でバランスの良い食事を提供すると共に、みそ作り、田植え、稲刈り等、「食」に関心が持てるような活動を積極的に取り入れ、経験を通して「食」の大切さを園児たちに伝えた。また、年に1度行う保育参観・給食試食会では、園で日頃から提供している野菜中心で栄養価の高い食事を試食してもらい、同時に「食」の大切さを保護者にも伝えた。



年長児の田植え体験

② 子育て支援の拠点づくり

未就園児を対象とした園庭開放「どんぐりクラブ」では、体験保育や、給食試食を通して、園児との交流を図り、保護者から育児相談を受けるなど、保育園との信頼関係を構築する場となった。また、多世代との地域交流も積極的に取り入れた。

【どんぐりクラブ（園庭開放）参加人数】

月	参加者数	体験内容
5月	8名（4組）	リズム遊び
6月	4名（2組）	どろんこ遊び
7月	4名（2組）	たなばた祭り
8月	15名（7組）	プール遊び
9月	11名（5組）	お絵かき遊び
11月	18名（8組）	お散歩
1月	10名（4組）	お正月遊び
2月	15名（7組）	リズム遊び
3月	20名（9組）	ねんど遊び



どんぐりクラブ絵本の読み聞かせ



平原校区敬老会に参加

(2) 放課後児童健全育成事業等の実施(市受託事業)

① 学童保育所運営

（三池・高取・白川【第1】・白川【第2】・大牟田中央）

放課後児童対策として、昼間児童の養育ができない家庭などの児童に対して、適切な遊びと生活の場を提供するとともに、各学童保育所・クラブにおいては、地域組織等と連携し様々な多世代間交流事業を実施した。



毎月発行の学童情報紙

学童保育所名	三 池	高 取	白 川 【第1】	白 川 【第2】	大牟田中央	合計
児童数（名）	40	27	29	30	39	165

（平成 31 年 3 月 31 日現在）



交通安全教室の様子



地域交流もちつきの様子



避難訓練の様子

② 支援員の研修受講

毎月の支援員会議での運営状況報告・事例検討をはじめ、救急救命講習・障がい児研修・保護者対応の研修など、より良い支援のための研修を実施した。また、支援員のスキルアップを目的として、様々な研修に積極的に参加した。

【主な研修内容】

実施日	内 容	参加者
6月 12 日	救急救命講習会	15 名
6月 17 日	全国学童保育指導員学校	1 名
9月 23 日	平成 30 年度福岡県放課後児童支援員認定資格研修会	2 名
10月 2 日	平成 30 年度福岡県放課後児童支援員認定資格研修会	3 名
10月 11 日	平成 30 年度福岡県放課後児童支援員認定資格研修会	2 名
10月 14 日	主任放課後児童支援員研修会	1 名
10月 20 日 ～10月 21 日	第 53 回 全国学童保育研究集会 in 神奈川	1 名
11月 13 日	「今日、学童保育指導員の仕事を見つめなおす」	12 名
11月 20 日	平成 30 年度全体支援員研修	12 名
11月 25 日	新人基礎研修会	2 名
2月 28 日	平成 30 年度大牟田市学童保育所障害児保育研修会	11 名

(3) 大牟田市ファミリー・サポート・センター事業運営(市受託事業)

子育ての手伝いをしたい人（協力・相互会員）と子育ての手助けをしてほしい人（利用会員）との相互援助活動（コーディネート）を行うとともに、協力・相互会員養成講座の実施や事業の周知啓発に努めた。

① 会員の登録及び活動

今年度の活動では、定期的な習い事や学童保育所の送迎の他に、ひとり親家庭や障がいのある子どもを持つ利用会員の支援を行った。登録のみの利用会員にとっても「地域で助けてくれる人がいる」という精神的な子育ての負担軽減につながっている。また、年間を通じて安心安全に子どもの援助を行うことが出来た。

区 分	登録会員数	前年度比	依頼件数（内キャンセル数）
利用会員	636名	93%	1,213回（137回） 前年度比：135%
協力会員	115名	100%	
相互会員	36名	86%	
合 計	787名	93%	

② 協力・相互会員養成講座の実施

今年度は、協力・相互会員養成講座（全6回）を2回開催した。第1回目は、ファミリー・サポート・センター協力会員とキャロットサービス協力会員、日常生活自立支援員の養成を「市民サポーター養成講座」として行い、第2回目は、子育て支援に关心のある新たなサポーターの掘りおこしのために「つどいの広場サポーター養成講座」と合同で開催した。

新規登録者数は、以下のとおり。



会員養成講座の様子

実施日（回数）	内 容	新規登録者数
8月22日～9月18日 (全6回)	協力会員養成講座（市民サポーター養成講座として開催）受講者数：延141名	協力会員：5名
1月22日～2月7日 (全6回)	協力会員養成講座（つどいの広場サポーター養成講座と合同開催）受講者数：延68名	協力会員：3名

③ ステップアップ講座と救急救命講習会の実施

活動中の協力・相互会員のスキルアップのための講座や救急救命講習を行った。



傾聴を学ぶ



子どものケガの手当



救急救命講習会

【ステップアップ講座】

実施日	内 容	受講者数
8月29日	「傾聴を学ぶ」	6名
8月30日	「子どもの体の発達と病気について」	6名
9月11日	「子どものケガの手当の仕方」	3名
1月31日	「子どものケガの手当の仕方」	2名
2月10日	「子どもの体の発達と病気について」	4名

【救急救命講習】

実施日	内 容	受講者数
9月18日	普通救命法 心肺蘇生法・AEDの使い方	10名
10月10日	乳幼児の心肺蘇生法・AEDの使い方	11名
2月 2日	乳幼児の心肺蘇生法・AEDの使い方	5名

④ 交流会の実施

多くの会員と子ども達が交流を図ることを目的に、もちつき交流会を開催した。

実施日	内 容	参加者数
12月16日	「もちつき交流会」 会員と子どもや家族の交流	41名 (大人25名・子ども16名)

(4) 大牟田市地域子育て支援拠点事業・つどいの広場事業運営(市受託事業)

大牟田市市民活動等多目交流施設である「つどいの広場」において、3歳以下の子どもとその保護者が気軽に集い交流できるような雰囲気作りを行い、子育て中の親の悩みごとや困りごとの相談に対応しながら、子育てへの負担感の緩和に努めた。また、子育て講座、親子を対象としたイベントの企画や実施及び子育てサポーター養成講座の実施、周知啓発に努めた。

① 子育て親子の交流の場の提供と交流促進

【利用者の登録・利用状況】

年 度	登録組数	利用組数	大人	子ども	総人数	相談件数
H30 年度	749 組	5,436 組	5,877 名	6,633 名	12,510 名	1,104 件
H29 年度	730 組	4,732 組	5,182 名	5,799 名	10,986 名	989 件

② 子育て等に関する相談、援助の実施（つどいの広場アドバイザーの活用）

つどいの広場内での相談や「にこにこ子育て」「栄養士相談」「保健師相談」「歯育て教室」「ベビーマッサージ」などにおいて保育士、栄養士、保健師、歯科衛生士、助産師による相談を行い、相談援助を実施した。

③ 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

月に1～2回子育てに悩む保護者を対象に子育て講座を実施し、保護者の育児への悩みを解消し、不安軽減につながるよう努めた。

④ 子育てサポーターの育成支援の実施

① つどいの広場サポーター活動状況

つどいの広場子育てサポーターは、講座中の託児、各種イベントの協力の他、広報や季節ごとの制作物の手伝いを行った。

年 度	サポーター数	活動件数
H30 年度	51 名	延460 回
H29 年度	42 名	延450 回



サポーターの企画による寸劇

② つどいの広場サポーター養成講座の実施

「ファミリー・サポート・センター協力会員養成講座」と合同で行い、8名の受講者のうち3名が新規サポーターとして登録を行った。また、現サポーターのステップアップ講座と併せて実施した。

実施日	内 容
1月22日～2月7日 (全7回)	基礎編2回：「ボランティアについて」他1回 実践編5回：「子どもの病気と体の発達」他4回 ※別掲P14

⑤ 親子を対象としたイベントの実施

福岡県の「ふくおか・みんなで家族月間」キャンペーンに合わせて、子育て中の家庭やこれから親になる人たちを対象としたイベント「家族で行こ行こわくわく Day」を開催し、子育ての楽しさや社会全体での子育て支援の大切さを市民に周知した。

また、離乳食の進め方や好き嫌いについて悩む保護者が多いため、“命を育む食の大切さ”を知って頂くことで、食事が親子にとって“楽しく幸せな時間”になるよう「離乳食教室」や「食育フェア」を開催した。

【家族で行こ行こわくわくDay】

年 度	利用組数	大人	子ども	総人数
H30 年度	71 組	104 名	101 名	205 名
H29 年度	74 組	120 名	111 名	231 名



わくわく Day の様子

【食育フェア】

年 度	利用組数	大人	子ども	総人数
H30 年度	33 組	37 名	31 名	68 名
H29 年度	69 組	78 名	79 名	157 名



食育フェアの様子

【離乳食教室】

年 度	利用組数	大人	子ども	総人数
H30 年度	30 組	30 名	32 名	62 名
H29 年度	35 組	35 名	37 名	72 名



離乳食教室の様子

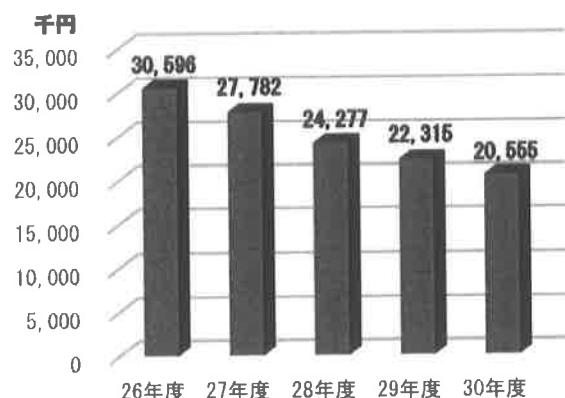
5. いつまでも元気に暮らすために在宅生活を支援します。

(1) 高齢者福祉対策の推進

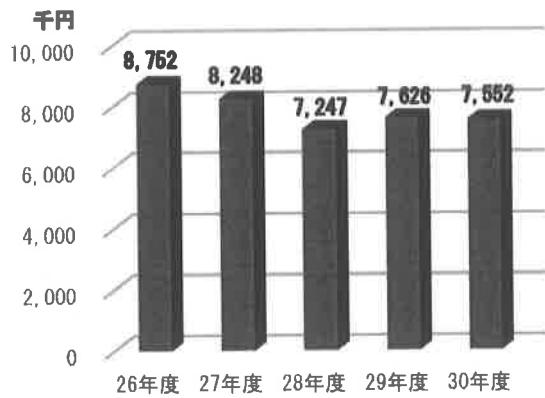
① 介護保険事業の実施

訪問介護（ホームヘルパー派遣）、訪問入浴（入浴車による訪問入浴）、居宅介護（ケアプランの作成）、通所介護（デイサービス）の事業を実施し、要支援、要介護者の在宅生活を支援した。

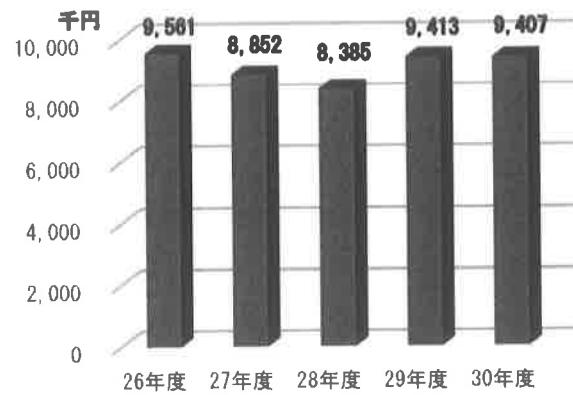
訪問介護事業（ホームヘルプ）実績



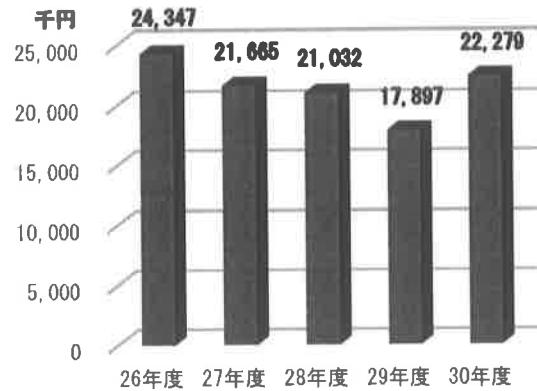
訪問入浴事業（入浴サービス）実績



居宅介護支援事業（ケアプラン）実績



通所介護事業（ふれあい処えい）実績



【平成 30 年介護保険事業の総括】

- 訪問介護事業では前年度実績より、延利用件数については 861 件減、収入面では 1,760 千円減となった。これは、新規利用者の受け入れを行うものの、利用回数の制限や要支援及び基準緩和型サービス等の利用者の相談が多く、介護報酬の高い要介護認定者の利用は入院・入所・死亡等により減少。加えて従来からの利用者の利用回数減少等が収入減額の要因となった。
- 訪問入浴事業では前年度実績より、延利用件数は 6 件減、収入面では 74 千円減となった。ターミナル期利用者の積極的な受け入れや従来からの利用者の利用回数増加もあり大幅な減少とはならなかった。
- 居宅介護支援事業では前年度実績より、月平均利用者数は同数（65 名）で 6 千円減であった。
- 通所介護（えい）事業では前年度実績より、延利用件数は 441 件増、収入面では 4,381 千円増となった。これは、サロンへ出向き介護予防に関する出前講座を行ったり、ケアマネジャーに対してケア内容や特色等を説明し理解を得られたことで、新規利用へつながったのではないかと考える。

※4 事業合計として、前年度実績と比較すると 2,541 千円の収入増となった。

【各年度事業実績】

事業名	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
訪問介護 サービス	収入(円)	30,596,792	27,782,816	24,277,610	22,315,580
	件数(件)	9,275	8,109	7,363	6,866
訪問入浴 サービス	収入(円)	8,752,500	8,248,060	7,247,680	7,626,040
	件数(件)	689	647	568	586
居宅介護 支援事業	収入(円)	9,561,730	8,852,290	8,385,220	9,413,660
	件数(件)	789	867	832	875
通所介護 (えいる)	収入(円)	24,347,220	21,665,861	21,032,681	17,897,900
	件数(件)	2,886	2,536	2,706	2,362
総合計	収入(円)	73,258,242	66,549,027	60,943,191	57,253,180
	件数(件)	13,639	12,159	11,469	10,689
					10,285

② 介護予防・相談センターの運営（市受託事業）

中央地区地域包括支援センターのサブセンターとして地域包括支援センターと協働し、介護予防の普及・啓発を目的とした介護予防啓発教室や健康相談の場を設け、地域住民の健康増進に努めた。また、介護認定により要支援と認定された高齢者及び日常生活総合事業対象（一部機能低下が見られる）高齢者に対して、介護予防プラン等を作成し、心身の健康保持や生活の安定のために、関係機関、サービス実施事業者と連携して支援を行った。また地域の民生委員等と同行し訪問相談を実施した。



通町市住サロンの取組み

【各年度事業実績】

事業名	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
介護予防・ 相談センター	収入(円)	6,485,110	6,218,700	5,967,000	5,867,800
	件数(件)	1,092	969	904	899
					1,029

【中央地区地域包括支援センター事業等への協力】

事業内容	開催場所
地域力アップ事業（介護予防事業）	白川小学校、総合福祉センター
絵本教室	白光中学校、白川小学校
認知症サポーター養成講座	総合福祉センター
もの忘れ予防・相談検診	地域交流センターしらかわ、ふらねコパン、中央地区公民館、ゆめタウン、えるる
その他サロン・カフェ等	平原サロン、通町市住サロン、中央地区公民館
民生委員・児童委員研修会	旧上官小学校

③ ホームヘルパー研修

日 程	講 師	研修内容	参加者
4月 17 日	市社協職員	事例検討会について	20 名
5月 23 日	大牟田市 防災対策室	災害の心構えについて	20 名
6月 19 日	中央地区地域包括支援センター 木村 薫氏	認知症になつてもだいじょうぶ ～明日のあなたのために～	24 名
7月 18 日	大牟田市 保健衛生課	感染症・食中毒について	19 名
8月 22 日	市社協職員	法令遵守と職業倫理について	19 名
9月 19 日	大牟田市 防災対策室	福祉避難所について～開設時における介護職の役割とは～	19 名
10月 17 日	市社協職員	ヒヤリハット・事故防止 (高齢者の身体的变化)	18 名
11月 21 日	市社協職員	介護予防・要介護度進行予防	21 名
12月 20 日	中央地区地域包括支援センター 吉田千絵氏	身体拘束廃止の取組みについて	13 名
1月 16 日	市社協職員	個人情報保護法について	19 名
2月 20 日	福岡県介護福祉士会 日高真由美氏	介護業務における接遇について	21 名
3月 19 日	大牟田市 消防本部	心肺蘇生法及び AED の操作方法	16 名

④ ホームヘルパー実習受入

日 稲	実 習 受 入 先	受 入 人 数
8月 23 日～8月 24 日	九州大谷短期大学	3 名

⑤ 「在宅介護者の会」の活動支援

在宅介護者に対する情報提供、相互交流を目的とする「在宅介護者の会」の事務局を担い、様々な活動支援を行った。

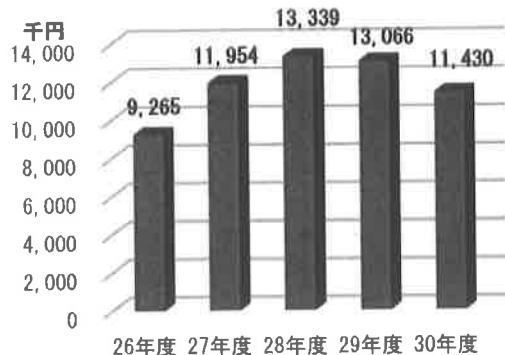
■大牟田市在宅介護者の会「げんきかい」…会員数 14 名
 【目 的】在宅介護者が本音で語り合い、交流することを通じて、仲間づくりを行うとともに「介護」にかかる課題を解決していくことを目的に実施。
 【定例会】毎月第 4 水曜日
 介護体験を語るおしゃべり会を中心に、学習会、レクレーションなどを実施。
 また、年 2 回、日帰り温泉旅行などリフレッシュ事業にも取り組んだ。

(2) 障がい児・者福祉サービス事業の推進

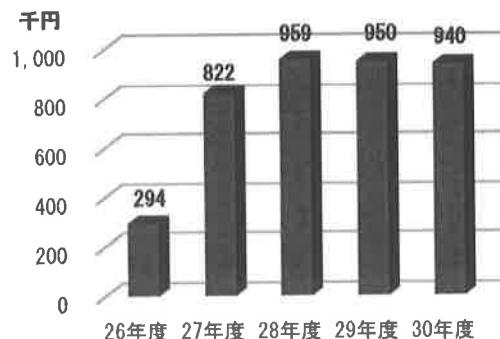
① 障害者自立支援サービス事業

障害区分認定を受けた在宅の障がい者に対して、居宅サービス（家事・通院支援・視覚障害者同行援護）移動支援（ガイドヘルパー派遣）、訪問入浴（入浴車による訪問入浴）、の 3 事業のうち 2 事業を実施し、在宅生活を支援した。

障害者居宅サービス事業（家事・同行）実績



障害者訪問入浴サービス事業実績



【平成 30 年度障害者自立支援サービス事業の総括】

- 居宅サービス事業では前年度実績より事業件数 36 件減、収入面では 1,635 千円減となった。これは、同行援護サービス利用者のケガにより利用回数が大幅に減少したことや、報酬改定による同行援護サービスの報酬額が下がった事が要因となった。
- 障害者入浴サービス事業では、ほぼ前年同額であった。利用者は昨年と変わらず 1 名で、前年度と同様週 2 回ペースで、毎月 8~9 回入浴している。

※2事業合計として、前年度実績と比較すると 1,645 千円の収入減であった。

事業名	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
障害者居宅 サービス事業	収入(円) 9,265,680	11,954,138	13,339,880	13,066,420	11,430,560
	件数(件) 2,338	2,118	1,832	1,678	1,642
障害者移動 支援事業	収入(円) 757,160	345,095	0	0	0
	件数(件) 385	110	0	0	0
障害者入浴 サービス事業	収入(円) 294,500	822,700	959,500	950,000	940,500
	件数(件) 31	87	101	100	99
総合計	収入(円) 10,317,340	13,121,933	14,299,380	14,016,420	12,371,060
	件数(件) 2,754	2,315	1,933	1,778	1,741

② 福祉有償運送事業実施への取組み

福祉有償車両（介護タクシー）事業を実施することにより、同行援護サービス利用者の利便性や社会生活の向上を図ることを目的とした事業実施に向けての取組みを下記のとおり実施した。

【福祉有償運送事業実施への取組み】

実施日	実施事項	内 容
8月20日	第2回理事会	福祉有償運送事業承認及び定款変更承認
8月26日	運行管理者試験	運行管理者試験受験→合格
8月30日	第2回評議員会	福祉有償運送事業承認及び定款変更承認
9月 1日	定款変更申請	大牟田市への定款変更申請
9月20日	定款変更認可	大牟田市より認可通知
9月26日	定款変更登記完了	福岡法務局

10月 1日	行政書士打合わせ	申請書類作成確認および追加資料作成
10月 12日	行政書士打合わせ	大牟田市との土地使用貸借契約書の残契約期間が1年未満。⇒自認書対応可能との運輸局見解
10月 18日	リース業者への確認	使用予定車両について、自家用→業務用変更時の車両リース料について見積依頼
11月 2日	行政書士打合わせ	申請書類作成確認。申請地番と字図との照合に時間を要しているとの報告。
11月 5日	保険会社への確認	使用予定車両について、自家用→業務用変更時の車両保険料について見積依頼
12月 5日	行政書士打合わせ	申請時提出書類最終確認
12月 6日	経営許可申請書提出	九州運輸局福岡運輸支局へ申請書提出
1月 7日	運輸局より追加書類提出依頼	運輸局より理事宣誓書（全員分）において社協理事就任追加記載依頼あり
1月 17日	運輸局へ追加書類再提出	九州運輸局福岡運輸支局へ追加書類提出
2月 8日	運輸局にて意見聴取 および法令試験	九州運輸局にて、経営許可申請に係る意見聴取（ヒアリング）及び法令試験実施（坂口常務）→合格
2月 22日	経営許可証受領	九州運輸局福岡運輸支局
	運賃認可申請書提出	九州運輸局福岡運輸支局へ申請書提出
3月12日	運賃認可	九州運輸局福岡運輸支局
3月15日	運賃認可証受領	九州運輸局福岡運輸支局
3月27日	事業用ナンバープレート変更	軽自動車検査協会 福岡主管事務所 久留米支所

6. 地域福祉の推進役を果たすために市社協の基盤を強化します。

(1) 大牟田善意銀行の預託状況

【寄付金等預託状況】

区分	H28年度	H29年度	H30年度
一般寄付（件数）	363件	333件	302件
一般寄付（金額）	8,024,282円	6,470,967円	4,930,814円
物品寄贈件数	17件	28件	14件

(2) 賛助会員加入状況

【賛助会員数等の推移】

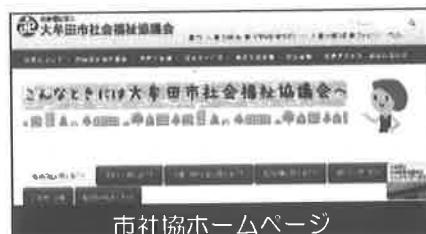
区分	H28年度	H29年度	H30年度
会員数（個人）	328名	321名	374名
会員数（企業・団体）	76件	73件	71件
総額	1,104,000円	1,158,000円	1,099,357円

(3) 広報の充実

① ホームページの運営

ホームページ運営委員会を定期的に開催し、内容の充実や改善を図り、社協及びくぬぎ保育所のホームページにて、行事開催案内や報告など様々な取り組みについて、随時情報提供を行った。

- ① 社協ホームページ (<http://www.omshakyo-kizuna.com/>)
- ② くぬぎ保育所ホームページ (<http://www.omshakyo-kizuna.com/kunugi/>)



① 広報紙 社協だより「きらり」の発行

年4回(4月・7月・10月・1月)、全世帯を対象に社協情報紙「きらり」を発行した。



③ 事務局通信「きらり」の発行

毎月 1 回、賛助会員等を対象に社協事務局通信「きらり」を発行し、タイムリーな情報を提供した。

発行	主な内容	発行	主な内容
4月	■歴木保育所卒園式報告 ■共同募金会モデル事業取組報告 ■倉永校区ウォーキング大会報告	10月	■九州ブロック地域福祉研究会議報告 ■赤い羽根共同募金運動が始まります
5月	■福岡県身体障がい者体育大会報告 ■社会福祉法人地域公益活動協議会定期総会開催報告 ■歴木保育所入園・進級式報告	11月	■歴木保育所行事報告 ■校区社協会長会つながり
6月	■白川校区ジュニア民生委員・児童委員 ■福祉教育についての取組報告	12月	■家族で行こ行こわくわく Day 報告 ■地域リーダー合同研修会報告
7月	■筑後ブロック民生委員・児童委員協議会会長会関係行政機関合同会議参加報告 ■新任福祉員研修会開催報告	1月	■新年挨拶 ■大牟田市地域福祉大会案内
8月	■事務局通信きらり 100 号発行記念 1~50 号までの振り返り ■災害、子ども・地域食堂への支援	2月	■第 10 回大牟田市地域福祉大会報告 ■赤い羽根共同募金・歳末たすけ合い募金報告
9月	■事務局通信きらり 100 号発行記念 51~100 号までの振り返り ■災害ボランティア設置・運営訓練報告	3月	■サロン連絡会等報告 ■つどいの広場・歴木保育所行事報告

(4) 総合福祉センターの運営

① 総合福祉センター利用状況

	H28 年度	前年比	H29 年度	前年比	H30 年度	前年比
会場使用料収入(円) ①	1,321,919	91.4%	1,318,451	99.7%	1,215,937	92.2%
賃貸料収入(円) ②	6,496,062	87.6%	6,601,789	101.6%	6,546,780	99.1%
手数料収入(円) ③	290,858	109.6%	556,189	191.2%	580,180	104.3%
利用収入計(円) (①+②+③)	8,108,839	88.8%	8,476,429	104.5%	8,342,897	98.4%

② 総合消防訓練

本会では、年に2回消防訓練を実施することとしている。今年度1回目は、9月10日に職員を対象とした避難訓練と消防設備点検を行った。2回目は2月28日に、ボランティア連絡協議会と合同で、総勢約60名の参加のもと総合消防訓練を行った。3階の通所介護事業所「ふれあい処えいる」厨房からの出火を想定し、各職員がそれぞれの役割（初期消火・避難誘導・非常持出・救助等）に分かれ、センター利用者や来館者を避難させた。避難訓練後は、水消火器を使った初期消火訓練や毛布を使用した患者搬送の方法、消火栓の使い方等を学び、改めて非常時の対応を確認することができた。



総合消防訓練の様子

(5) 福祉避難所及び自主避難所の開設

大雨や台風接近等により、総合福祉センターを福祉避難所及び自主避難所として延べ8日間開設した。地域の一人暮らし高齢者などが来所された。今後も災害時等に安心して利用できる場所として提供していく。

【自主避難所開設】

福祉避難所		自主避難所					合計
大雨	7月6日～	台風接近	7月3日～	9月29日～	熊本地方を中心とする地震	1月3日～	
来館者	5名	来館者	10名	12名	来館者	0名	27名
対応職員数	4名	対応職員数	2名	2名	対応職員数	2名	10名
開設時間	17:15～ 翌日9:30	開設時間	7:00～ 翌日7:00	16:00～ 翌日17:30	開設時間	21:00～ 翌日8:30	

(6) 福祉バス等貸出事業

福祉団体等の各種大会や研修会等の参加に際し、福祉バスを貸出した。また、福祉行事のための荷物等を運搬する軽トラックの貸出も実施した。

利用状況	H28 年度		H29 年度		H30 年度	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
福祉バス	80回	3,909名	78回	3,457名	89回	3,256名
軽トラック	12回		4回		4回	

(7) 車椅子貸出事業

在宅の高齢者・障がい(児)者等に対して、日常生活の便宜と介護者の負担軽減を図るため、延べ171名に無料で車椅子を貸出した。

(8) 職員研修の取組み

① 全体研修

開催日	テーマ	講 師	参加人数
6月20日	成年後見制度について	大牟田市成年後見センター センター長 竹本安伸	60名
9月 2日	大牟田市総合防災訓練 (災害ボランティアセンター設置運営訓練)	災害ボランティアセンター 設置運営訓練プロジェクトチーム	63名
10月23日	大牟田市社会福祉法人 地域公益活動協議会について	大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会 運営委員長 坂口明夫氏	59名
12月19日	身近な人権問題について	人権・同和教育課 地域活動指導員 前田一実氏	58名
2月10日	第10回大牟田市地域福祉大会	大牟田市地域福祉大会実行委員会	68名

② その他の研修

各部署において、職員のスキルアップのため課題別の研修に取り組んだ。

開催日	テーマ	講 師	参加人数
1月22日	ゴミ屋敷に至る背景について	岩手県立大学 堀内 聰氏	6名
3月18日	依存症の理解とその支援	福岡県立大学 四戸智昭氏	15名



職員全体研修・人権研修



その他研修・依存症に関する研修

(9) 視察受入及び講師派遣状況

月 日	内 容
4月 5日	□三井金属新任職員研修（大牟田市社協・ボランティアセンターの取組み）
4月 25日	□筑後市社協視察（子ども・地域食堂の取組み）
4月 27日	■鹿児島県市町村社協セミナー（大牟田市社協・社法公益活動協の取組み）
5月 1日	■小規模多機能施設わたぜ研修（大牟田市社協・日常生活自立支援事業の取組み）
5月 11日	■長崎県市町村社協事務局長等会議（大牟田市社協・社法公益活動協の取組み）
5月 28日	■宮崎県内社協会長・事務局長会議（大牟田市社協・社法公益活動協の取組み）
6月 15日	□糸島市社協視察（小地域ネットワーク活動の取組み）
6月 19日	□佐賀県江北町社協視察（子ども民生委員の取組み）
7月 14日	□うきは市社協視察（子ども・地域食堂の取組み）
7月 25日	□飯塚市社協視察（小地域ネットワーク活動、子ども・地域食堂、地域支え合いマップの取組み）
7月 27日	■曾於市社会福祉法人会及び職員研修（大牟田市社協・社法公益活動協の取組み）
8月 11日	□筑後市社協視察（子ども・地域食堂の取組み）
8月 22日	■地域包括支援センター・社会福祉士を対象とした出前講座（成年後見制度・市民後見センターの役割）
8月 27日	□立命館大学・岐阜経済大学視察（社法公益活動協・居住支援協議会の取組み）
8月 30日	□神戸市居住支援協議会視察（居住支援協議会の取組み）
9月 7日	■玉川校区民生委員・福祉委員情報交換会（成年後見制度・市民後見センターの役割）
9月 11日	■柳川市社会福祉法人連絡会議（社法公益活動協の取組み）
9月 12日	□宗像市社協視察（地域支え合いマップの取組み）
9月 20日	□伊万里市社協視察（大牟田市社協・社法公益活動協の取組み）
9月 21日	■大牟田南ロータリークラブ卓話（社法公益活動協の取組み）
9月 27日	■久留米市社会福祉法人連絡会（社法公益活動協の取組み）
10月 16日	□霧島市社協視察（大牟田市社協・社法公益活動協の取組み）
10月 17日	■平成30年度労働者福祉南部ブロック協議会・研究集会（居住支援協議会の取組み）
10月 29日	□北九州市小倉南区社協視察（キャロットサービスの取組み）
11月 1日	□飯塚市顕田町社協視察（キャロットサービスの取組み） □日南市社協視察（大牟田市社協・社法公益活動協の取組み）
11月 8日	■宅峰中出前講座（キャロットサービスの取組み）
11月 20日	■多久市社会福祉法人連絡会研修（社法公益活動協の取組み）
11月 21日	□沖縄県居住支援協議会視察（居住支援協議会の取組み）
11月 27日	■子どもから地域に広がれネットワーク・シンポジウム（子ども・地域食堂の取組み）
11月 30日	□大分県日出町社協視察（子ども民生委員の取組み）
12月 2日	□母子寡婦福祉会講話（大牟田市社協・社法公益活動協の取組み）
12月 8日	■九州大谷短期大学講話（大牟田市社協・社法公益活動協の取組み）
12月 10日	■平成30年度三重県居住支援フォーラム（居住支援協議会の取組み）
12月 11日	□筑後地区社協職員連絡会地域福祉部視察（大牟田市社協・社法公益活動協の取組み）
12月 12日	□中間市・遠賀郡社協連絡会視察（大牟田市社協・社法公益活動協の取組み）
1月 13日	■認知症コーディネーター養成研修（成年後見制度・市民後見センターの役割）
1月 15日	■八女市社協成年後見講座（成年後見制度・市民後見センターの役割）
1月 18日	■日南市社協研修及び社会福祉法人研修（社法公益活動協の取組み）
1月 24日	■平成30年度生活困窮者支援に関する研修（生活困窮者自立支援事業・社法公益活動協の取組み）

2月 9日	■手錠校区合同研修会（生活困窮者自立支援事業・社法公益活動協の取組み）
2月 12日	□東京都立川市社協視察（大牟田市社協・社法公益活動協・居住支援協議会の取組み）
2月 14日	■大牟田市民児協研修会（生活困窮者自立支援事業・社法公益活動協の取組み）
2月 15日	■吉野地区地域包括エリア・ケアマネジャー研修（大牟田市社協・社法公益活動協の取組み）
2月 18日	□福山平成大学視察（居住支援協議会の取組み） □宮崎県高鍋町及び社協視察（社法公益活動協の取組み）
2月 20日	□鹿児島県肝付町役場視察（居住支援協議会の取組み・成年後見制度・市民後見センターの役割）
2月 21日	□鹿児島県肝付町役場視察（大牟田市社協・社法公益活動協の取組み） ■瓦町公民館・サロン出前講座（成年後見制度・市民後見センターの役割）
3月 1日	■福岡県地域福祉基礎研修（地域支え合いマップの取組み）
3月 7日	■中間市民生活相談センター研修（社法公益活動協の取組み）
3月 26日	□NPO法人抱撲視察（生活困窮者自立支援事業・社法公益活動協の取組み）

※ □…視察対応 ■…講師派遣



飯塚市社協視察受入



日南市社協視察受入

(10) 実習生の受入

① 社会福祉士相談援助実習生の受入

次世代の福祉人材（社会福祉士等）を育成するために相談援助実習の受入を行っているが、今年度は、夏季・春季の2回に分けて、7名の学生を受入れた。



ふれあいサロン訪問の様子

受入期間	【夏季】(24 日間) 8月 17 日～9月 20 日	【春季】(24 日間) 2月 20 日～3月 22 日
受入人数	福岡県立大学 筑紫女学園大学 久留米大学 西南学院大学 各 1 名 計 4 名	九州看護福祉大学 3 名
実習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会の役割と事業概要 ・成年後見制度説明 ・小地域ネットワーク活動 ・福祉委員の役割 ・サロン活動訪問 ・住民参加型在宅福祉サービス ・介護保険事業サービス ・災害ボランティアセンターの取組み ・共同募金運動の概要 ・地域支え合いマップの取組み ・社会福祉法人地域公益活動協議会の取組み ・事例検討 等 	

② 障害者就労・自立支援センターからの実習生の受入

障害者の就労支援の一環で、職場実習の場として、下記のとおり受入れた。ジョブコーチ指導のもと、主に共同募金関係の庶務やデータ入力業務を行った。

受入期間	① 8月20日～8月30日（11日間） ② 9月11日～9月21日（11日間） ③ 11月21日～11月28日（8日間） ④ 2月 6日～2月 8日（3日間）
受入人数	4名
実習内容	共同募金関係庶務、データ入力業務、資料封入 等

～ 各種会議・各種委員会報告 ～

(1) 理事会開催状況

会議名	月日	内 容
第1回理事会	5月30日	<ul style="list-style-type: none"> 議案第 1号…平成 29 年度 事業報告について 議案第 2号…平成 29 年度 資金収支決算について 平成 29 年度 監査報告 議案第 3号…評議員会開催日時（案）について
第2回理事会	8月20日	<ul style="list-style-type: none"> 議案第 4号…一般乗用旅客自動車運送事業（福祉輸送事業限定） 及び自家用自動車有償運送事業の実施（案）について 議案第 5号…定款の一部変更（案）について 議案第 6号…ふれあい処えいるの名称変更（案）について 議案第 7号…平成 30 年度 補正予算（案）について 議案第 8号…基本財産への編入について 議案第 9号…評議員会開催日時（案）について
第3回理事会 (みなし)	11月8日	<ul style="list-style-type: none"> 議案第 10号…理事候補者の推薦（案）について 議案第 11号…第3回評議員会（みなし評議員会）の開催について
第4回理事会	2月25日	<ul style="list-style-type: none"> 議案第 12号…役員等の報酬及び費用弁償等に関する規程の 一部変更（案）について 議案第 13号…平成 30 年度 補正予算（案）について 議案第 14号…歴木保育所 定員変更（案）について 議案第 15号…評議員会開催日時等（案）について
第5回理事会	3月19日	<ul style="list-style-type: none"> 議案第 16号…理事候補者の推薦（案）について 議案第 17号…労働契約法の改正に伴う規程および規則の一部変更（案）に ついて 議案第 18号…2019年度 事業計画（案）について 議案第 19号…2019年度 資金収支予算（案）について

(2) 評議員会開催状況

会議名	月日	内 容
第1回評議員会	6月18日	<ul style="list-style-type: none"> 議案第 1号…平成 29 年度 事業報告について 議案第 2号…平成 29 年度 資金収支決算について 平成 29 年度 監査報告
第2回評議員会	8月30日	<ul style="list-style-type: none"> 議案第 3号…定款の一部変更（案）について 議案第 4号…平成 30 年度 補正予算（案）について
第3回評議員会 (みなし)	11月26日	<ul style="list-style-type: none"> 議案第 5号…補欠理事の選任について
第4回評議員会	3月 5日	<ul style="list-style-type: none"> 議案第 6号…役員等の報酬及び費用弁償等に関する規程の 一部変更（案）について 議案第 7号…平成 30 年度 補正予算（案）について
第5回評議員会	3月29日	<ul style="list-style-type: none"> 議案第 8号…2019年度 事業計画（案）について 議案第 9号…2019年度 資金収支予算（案）について 議案第 10号…補欠理事の選任について

(3) 各部会・委員会開催状況

会議名	月日	内容
第1回三役会	5月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度 事業報告について ・平成 29 年度 資金収支決算について ・平成 29 年度 監査報告 ・評議員会開催日時（案）について
第2回三役会・ 第1回福祉サービス部会 (合同会議)	7月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・一般乗用旅客自動車運送事業（福祉輸送事業限定） 及び自家用自動車有償運送事業の実施（案）について ・定款の一部変更（案）について ・ふれあい処えいるの名称変更（案）について ・平成 30 年度 補正予算（案）について ・基本財産への編入について ・評議員会開催日時（案）について
表彰審査委員会	11月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度大牟田市社会福祉協議会表彰審査
第3回三役会 第1回総務部会 (合同会議)	3月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事候補者の推薦（案）について ・補欠理事の選任について ・労働契約法の改正に伴う規程および規則の一部変更（案）について ・2019 年度 事業計画（案）について ・2019 年度 資金収支予算（案）について